

令和5年度

福岡市市政アンケート調査  
報告書

福岡市市長室

( 広聴課 )



# 目 次

I 調査内容		
1. 調査の概要	.....	1
2. 標本構成	.....	2
3. 注意点	.....	3
4. 実施状況	.....	4
II 調査結果		
●第1回		
◇ 調査結果の概要	.....	9
◇ 調査集計結果		
①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について	.....	18
②「環境保全の意識」について	.....	21
③「ユマニチュード(R)」について	.....	24
④「救急車の適正利用」について	.....	26
⑤「選挙」について	.....	28
●第2回		
◇ 調査結果の概要	.....	33
◇ 調査集計結果		
①「ふくおかさん家のうまかもん」について	.....	41
②「消費生活」について	.....	42
③「地域の福祉活動」について	.....	44
④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について	.....	46
⑤「福岡市の教育」について	.....	50
●第3回		
◇ 調査結果の概要	.....	55
◇ 調査集計結果		
①「福岡市の広報活動」について	.....	66
②「情報通信の利用状況」について	.....	70
③「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について	.....	73
④「再犯の防止」について	.....	76
●第4回		
◇ 調査結果の概要	.....	81
◇ 調査集計結果		
①「『食』の安全・安心」について	.....	89
②「住宅用火災警報器」について	.....	91
③「博多港(麒麟柄のコンテナクレーン)」について	.....	94
④「福岡市の下水道事業」について	.....	96
●第5回		
◇ 調査結果の概要	.....	101
◇ 調査集計結果		
①「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について	.....	107
②「緑のまちづくり」について	.....	110
③「福岡市の行政運営の取組み」について	.....	115
●第6回		
◇ 調査結果の概要	.....	125
◇ 調査集計結果		
①「家庭ごみ」について	.....	131
②「ユニバーサル都市・福岡」について	.....	138
③「福岡市都市景観賞」について	.....	140
④「福岡市の屋台」について	.....	142
※市政アンケート調査実施後アンケート	.....	146



# I 調査内容



# 令和5年度 市政アンケート調査結果報告書

## 1. 調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 :令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 標本構成(就任時)

### (1) 全体

区別	合計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
全区	647人	100%	299人	46.2%	348人	53.8%

### (2) 行政区別

区別	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
東区	155人	24.0%	68人	10.5%	87人	13.4%
博多区	83人	12.8%	42人	6.5%	41人	6.3%
中央区	81人	12.5%	31人	4.8%	50人	7.7%
南区	109人	16.8%	53人	8.2%	56人	8.7%
城南区	56人	8.7%	28人	4.3%	28人	4.3%
早良区	77人	11.9%	36人	5.6%	41人	6.3%
西区	86人	13.3%	41人	6.3%	45人	7.0%

### (3) 年代別

年代区分	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
18～29歳	113人	17.5%	57人	8.8%	56人	8.7%
30代	104人	16.1%	48人	7.4%	56人	8.7%
40代	117人	18.1%	58人	9.0%	59人	9.1%
50代	110人	17.0%	51人	7.9%	59人	9.1%
60代	75人	11.6%	38人	5.9%	37人	5.7%
70歳以上	128人	19.8%	47人	7.3%	81人	12.5%

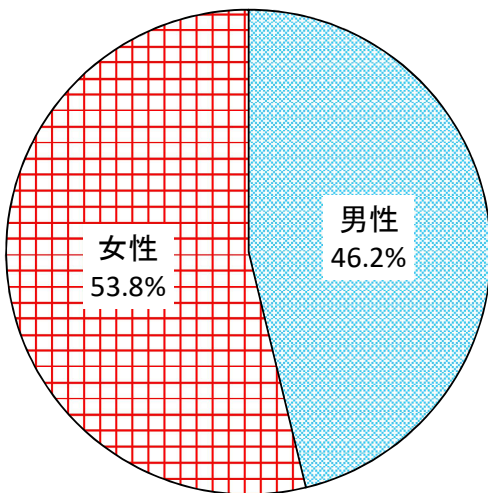
### (4) 職業別

職業区分	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
正社員・正職員	253人	39.1%	162人	25.0%	91人	14.1%
契約社員・派遣社員・ 嘱託	42人	6.5%	21人	3.2%	21人	3.2%
パート・アルバイト	92人	14.2%	20人	3.1%	72人	11.1%
会社等役員	19人	2.9%	16人	2.5%	3人	0.5%
自営業・家族従事者	34人	5.3%	16人	2.5%	18人	2.8%
専業主婦・専業主夫	86人	13.3%	1人	0.2%	85人	13.1%
学生	31人	4.8%	17人	2.6%	14人	2.2%
無職	83人	12.8%	43人	6.6%	40人	6.2%
その他	7人	1.1%	3人	0.5%	4人	0.6%

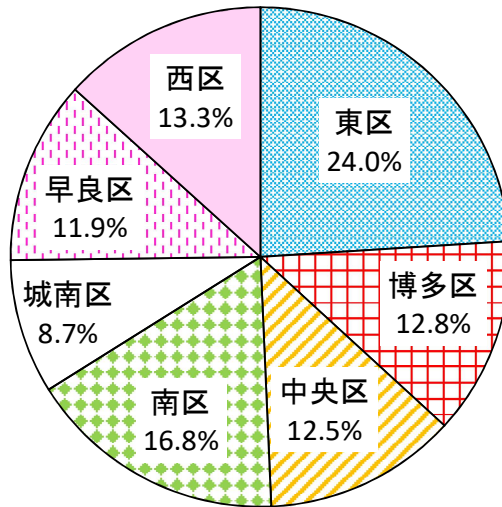


(5) 標本比グラフ

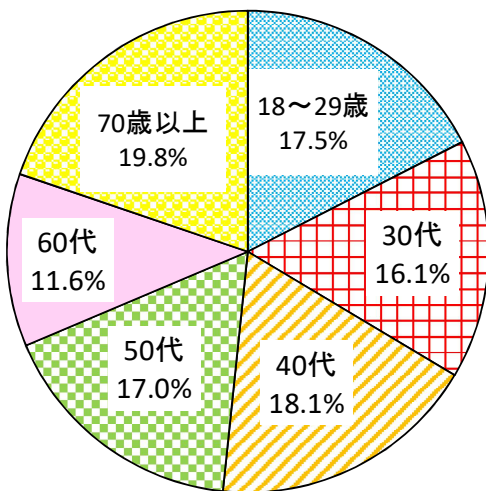
【男女別】



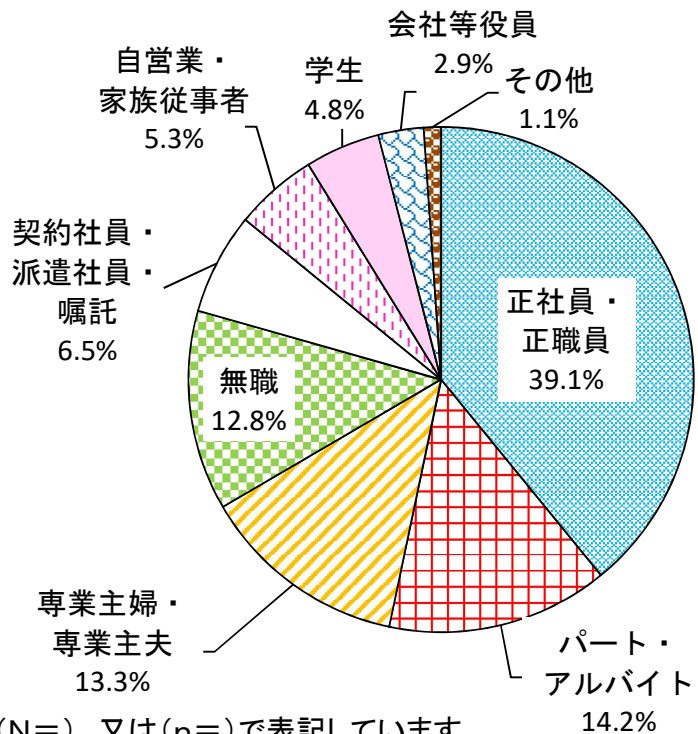
【行政区別】



【年代別】



【職業別】



3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)、又は(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

## 4.実施状況

第1回	実施時期	令和5年5月25日～令和5年6月8日
	回収結果	回答者数 574人(調査対象者数645人) 回答率 89.0%
	調査テーマ1	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
	担当課	住宅都市局 活用課 TEL:092-711-4367 FAX:092-733-5590 E-mail:koenkatsuyou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「環境保全の意識」について
	担当課	環境局 環境政策課 TEL:092-733-5381 FAX:092-733-5592 E-mail:k-seisaku.EB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「ユマニチュード(R)」について
担当課	福祉局 認知症支援課 TEL:092-711-4891 FAX:092-733-5587 E-mail:ninchi-shien.PWB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「救急車の適正利用」について	
担当課	消防局 救急課 TEL:092-725-6571 FAX:092-791-2994 E-mail:kyukyu.119@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ5	「選挙」について	
担当課	選挙管理委員会 選挙課 TEL:092-711-4682 FAX:092-733-5790 E-mail:senkyo.EACS@city.fukuoka.lg.jp	

第2回	実施時期	令和5年6月23日～令和5年7月7日
	回収結果	回答者数 548人(調査対象者数642人) 回答率 85.4%
	調査テーマ1	「ふくおかさん家のうまかもん」について
	担当課	農林水産局 政策企画課 TEL:092-711-4841 FAX:092-733-5583 E-mail:seisakukikaku.AFFB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「消費生活」について
	担当課	市民局 消費生活センター TEL:092-712-2929 FAX:092-712-2765 E-mail:shohiseikatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「地域の福祉活動」について
担当課	福祉局 地域福祉課 TEL:092-733-5346 FAX:092-711-4232 E-mail:chiikifukushi.PWB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について	
担当課	環境局 脱炭素社会推進課 TEL:092-711-4282 FAX:092-733-5592 E-mail:datsutanso-shakai.EB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ5	「福岡市の教育」について	
担当課	教育委員会 教育政策課 TEL:092-711-4412 FAX:092-711-4600 E-mail:kyoikuseisaku.BES@city.fukuoka.lg.jp	

第3回	実施時期	令和5年7月25日～令和5年8月8日
	回収結果	回答者数 543人(調査対象者数640人) 回答率 84.8%
	調査テーマ1	「福岡市の広報活動」について
	担当課	市長室 広報課 TEL:092-711-4016 FAX:092-732-1358 E-mail:koho.MO@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「情報通信の利用状況」について
	担当課	総務企画局 サービスデザイン課 TEL:092-711-4105 FAX:092-724-2098 E-mail:servicesdesign.GAPB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について
担当課	市民局 防犯・交通安全課 TEL:092-711-4061 FAX:092-711-4059 E-mail:bouhankotsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「再犯の防止」について	
担当課	市民局 防犯・交通安全課 TEL:092-711-4061 FAX:092-711-4059 E-mail:bouhankotsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp	

第4回	実施時期	令和5年8月25日～令和5年9月8日
	回収結果	回答者数 537人(調査対象者数639人) 回答率 84.0%
	調査テーマ1	「『食』の安全・安心」について
	担当課	保健医療局 食品安全推進課 TEL:092-711-4277 FAX:092-733-5588 E-mail:shokuhinzen.PHB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「住宅用火災警報器」について
	担当課	消防局 予防課 TEL:092-725-6611 FAX:092-791-2699 E-mail:yobo.119@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「博多港(キリン柄のコンテナクレーン)」について
担当課	港湾空港局 総務課 TEL:092-282-7104 FAX:092-282-7771 E-mail:somu.PHB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「福岡市の下水道事業」について	
担当課	道路下水道局 下水道企画課 TEL:092-711-4428 FAX:092-733-5533 E-mail:gesuikikaku.RSB@city.fukuoka.lg.jp	

第5回	実施時期	令和5年10月5日～令和5年10月19日
	回収結果	回答者数 544人(調査対象者数638人) 回答率 85.3%
	調査テーマ1	「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について
	担当課	水道局 総務課 TEL:092-483-3139 FAX:092-482-1376 E-mail:somu.WB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「緑のまちづくり」について
担当課	住宅都市局 政策課 TEL:092-711-4446 FAX:092-733-5590 E-mail:koenseisaku.HUPB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ3	「福岡市の行政運営の取り組み」について	
担当課	総務企画局 行政マネジメント課 TEL:092-711-4136 FAX:092-724-2098 E-mail:gyoseimg.GAPB@city.fukuoka.lg.jp	

第6回	実施時期	令和5年11月6日～令和5年11月20日
	回収結果	回答者数 535人(調査対象者数637人) 回答率 84.0%
	調査テーマ1	「家庭ごみ」について
	担当課	環境局 計画課 TEL:092-711-4308 FAX:092-733-5907 E-mail:keikaku.EB@city.fukuoka.lg.jp 環境局 ごみ減量推進課 TEL:092-711-4039 FAX:092-711-4823 E-mail:gomigenryo.EB@city.fukuoka.lg.jp 環境局 収集管理課 TEL:092-711-4346 FAX:092-733-5907 E-mail:shushukanri.EB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「ユニバーサル都市・福岡」について
	担当課	総務企画局 企画調整部 TEL:092-711-4086 FAX:092-733-5582 E-mail:kikaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp
調査テーマ3	「福岡市都市景観賞」について	
担当課	住宅都市局 都市景観室 TEL:092-711-4395 FAX:092-733-5590 E-mail:toshikeikan.HUPB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「福岡市の屋台」について	
担当課	経済観光文化局 まつり振興課 TEL:092-711-4359 FAX:092-711-4354 E-mail:matsuri.EPB@city.fukuoka.lg.jp	



## Ⅱ 調査結果



# 令和5年度 市政アンケート調査 第1回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 : 令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第1回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和5年5月25日から6月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 645人
- (3) 回答者数
- 574人
- (4) 有効回答率
- 89.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
  - ②「環境保全の意識」について
  - ③「ユマニチュード®」について
  - ④「救急車の適正利用」について
  - ⑤「選挙」について

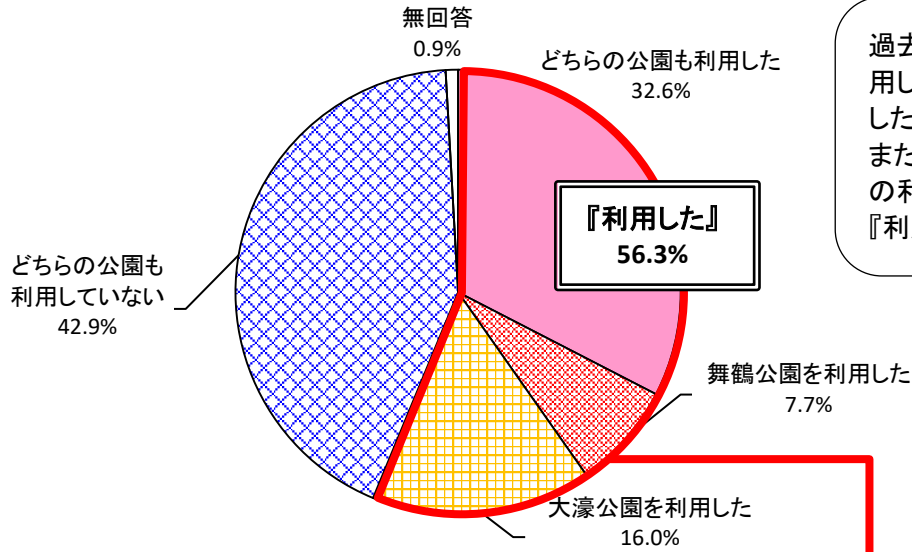
## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例：『満足』=「満足」+「どちらかといえば満足」

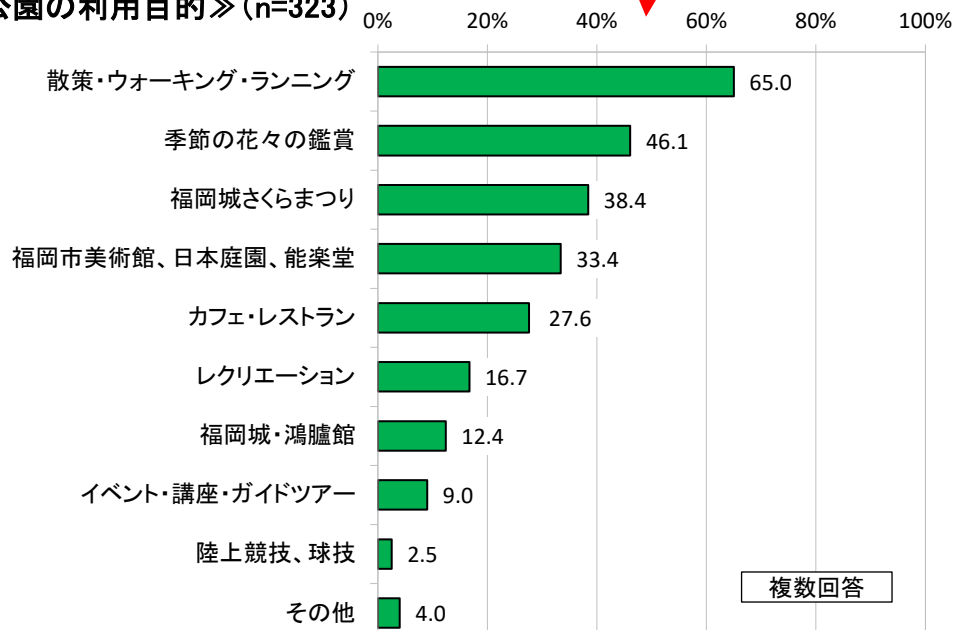
### ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について(N=574)

#### 《過去1年間で舞鶴公園・大濠公園を利用したか》

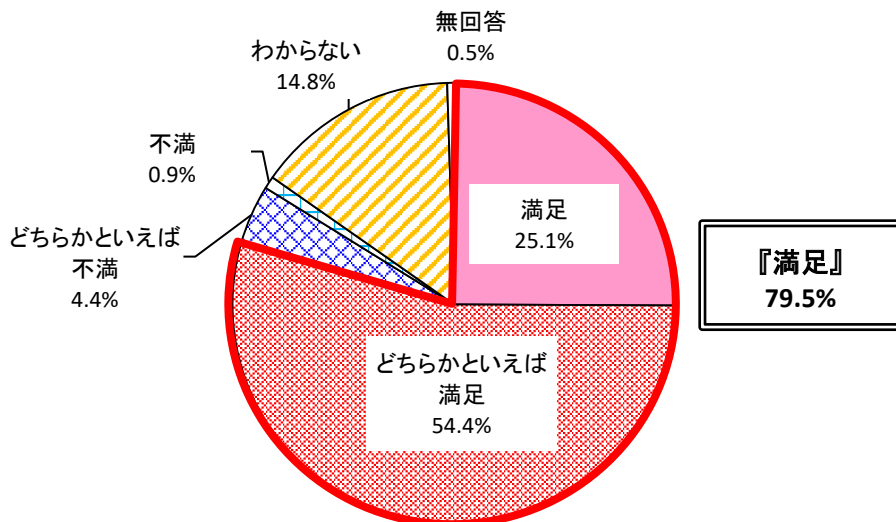


過去1年間で「どちらの公園も利用した」と回答した方は32.6%でした。  
また、舞鶴公園、大濠公園のみの利用も含めると56.3%の方が『利用した』と回答しています。

#### 《舞鶴公園・大濠公園の利用目的》(n=323)



#### 《舞鶴公園・大濠公園についての総合的な満足度》



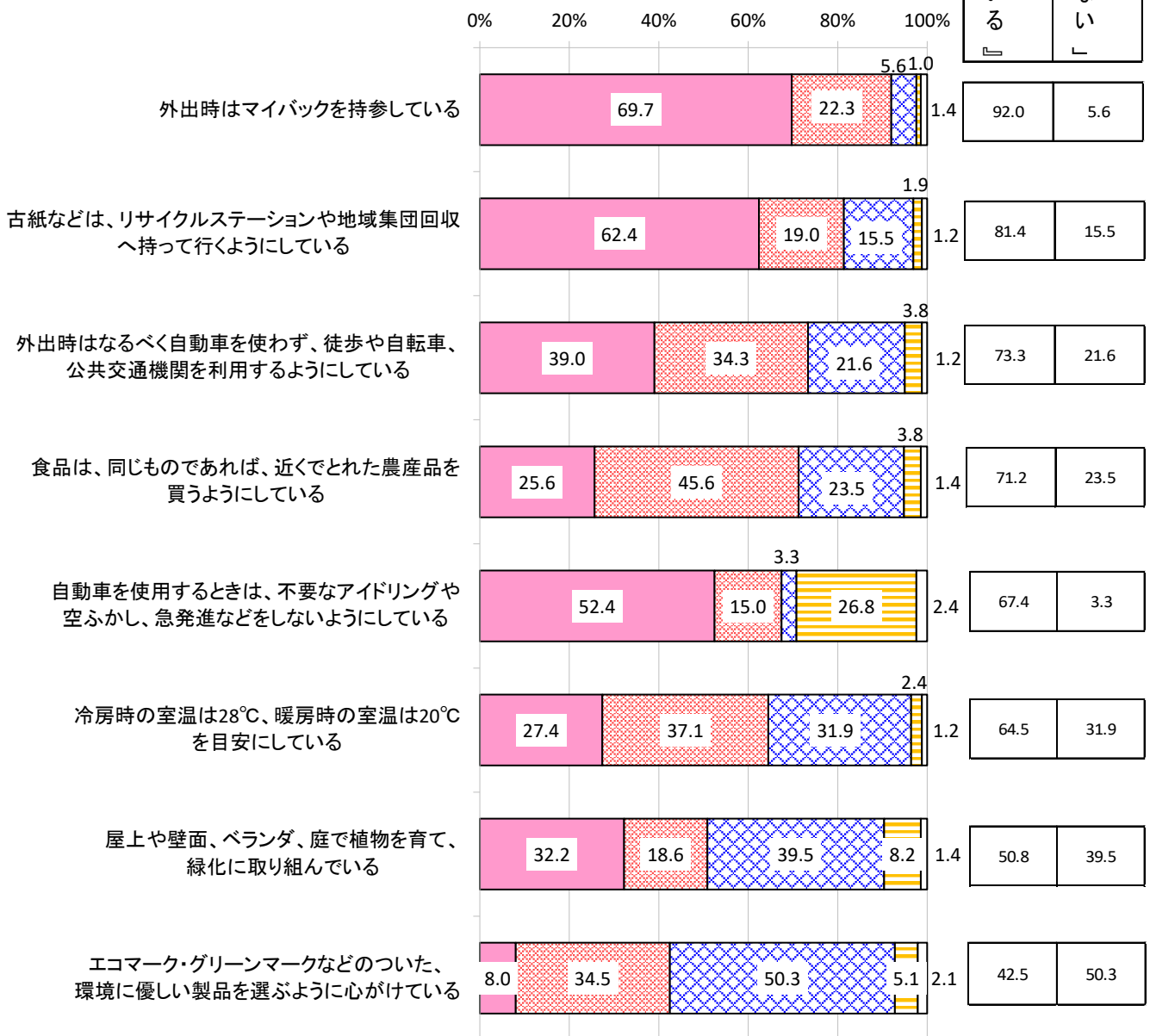


## ②「環境保全の意識」について(N=574)

### 《環境に配慮する行動を実行しているか》

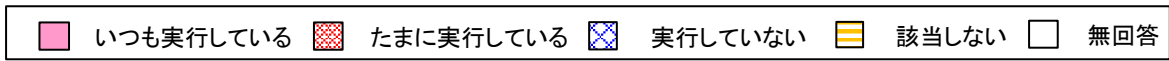
いつも実行している
  たまに実行している
  実行していない
  該当しない
  無回答

『実行している』  
 『実行していない』

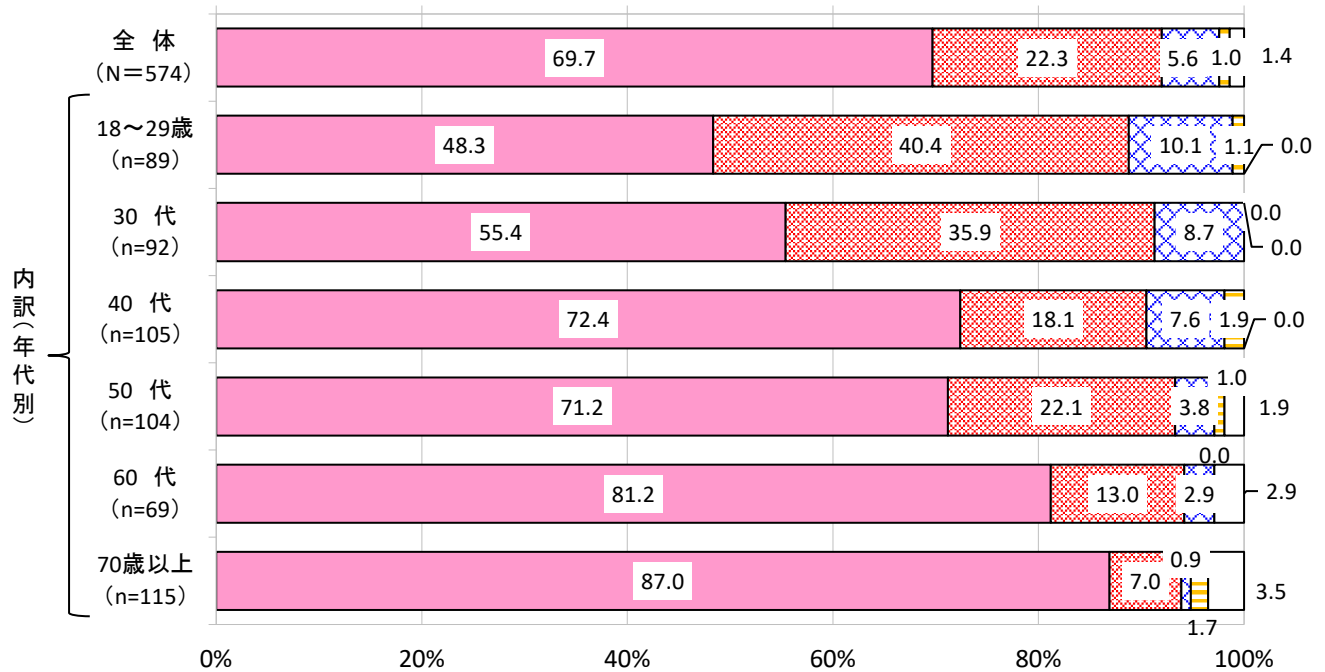


「外出時はマイバックを持参している」を『実行している』と回答した方が92.0%と最も多く、次いで「古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている」を『実行している』と回答した方が81.4%という結果になりました。

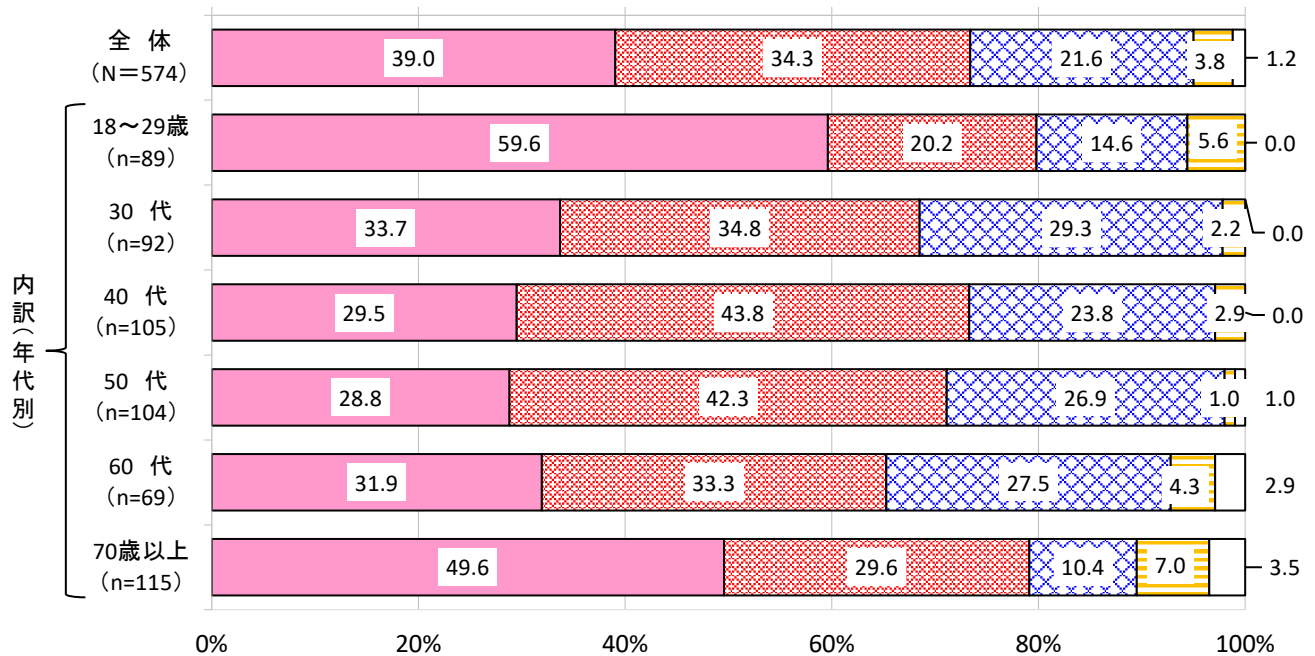
《環境に配慮する行動を実行しているか》（項目別：抜粋）



■外出時はマイバックを持参している

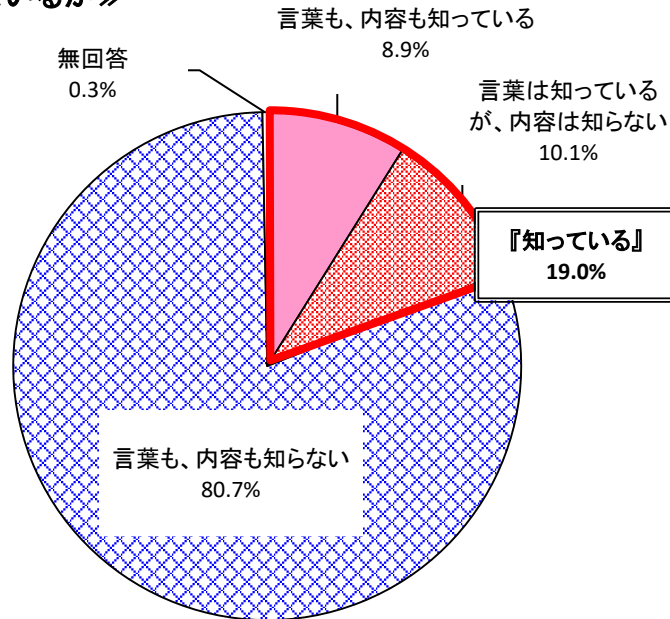


■外出時はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するようにしている



### ③「ユマニチュード®」について(N=574)

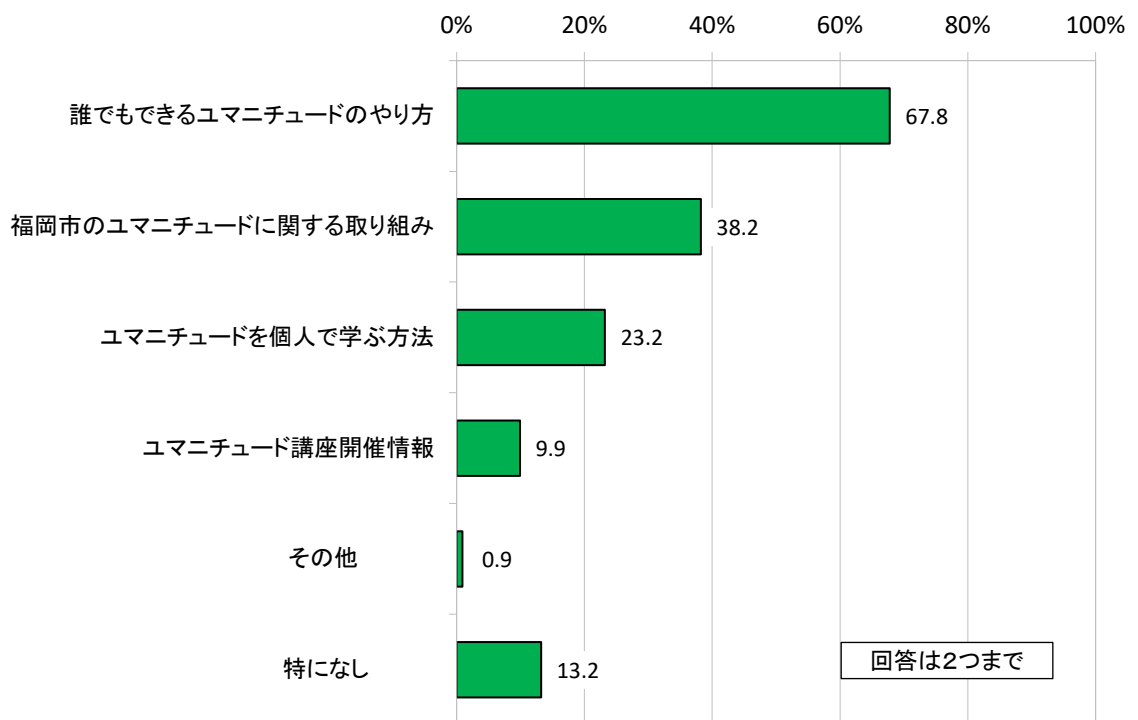
#### 《「ユマニチュード」を知っているか》



#### ※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。  
 ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

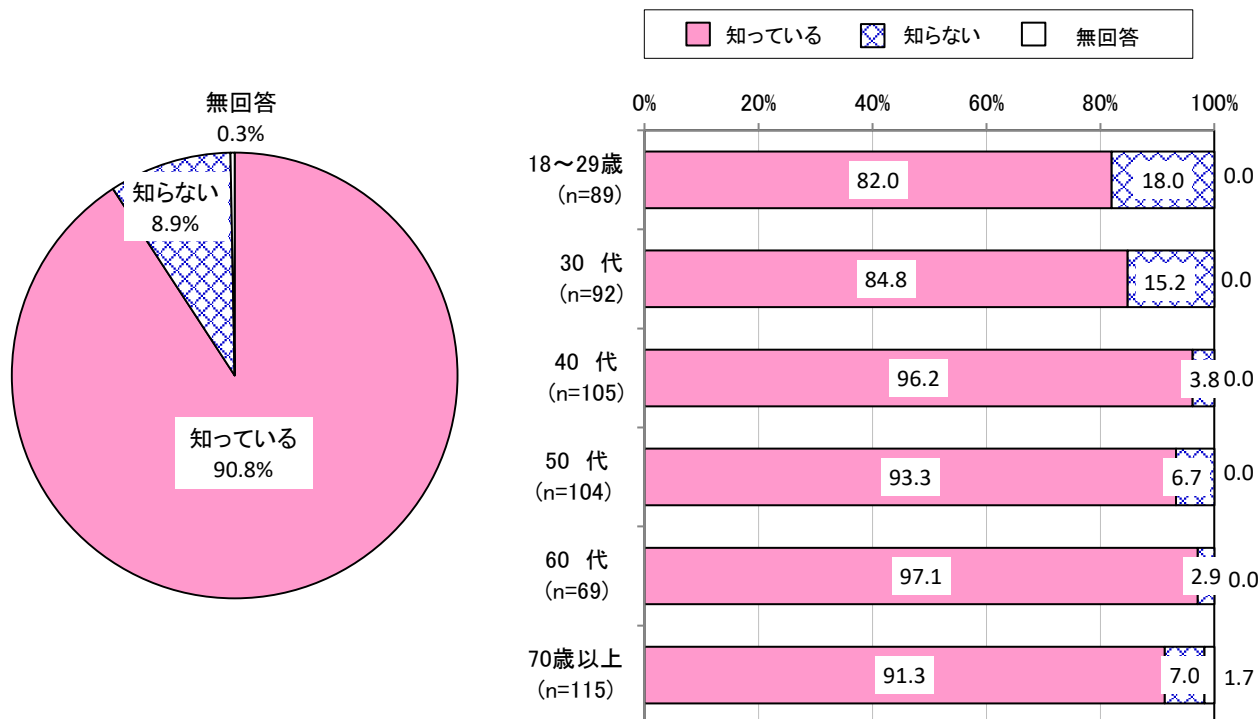
#### 《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方」と回答した方が67.8%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が38.2%という結果になりました。

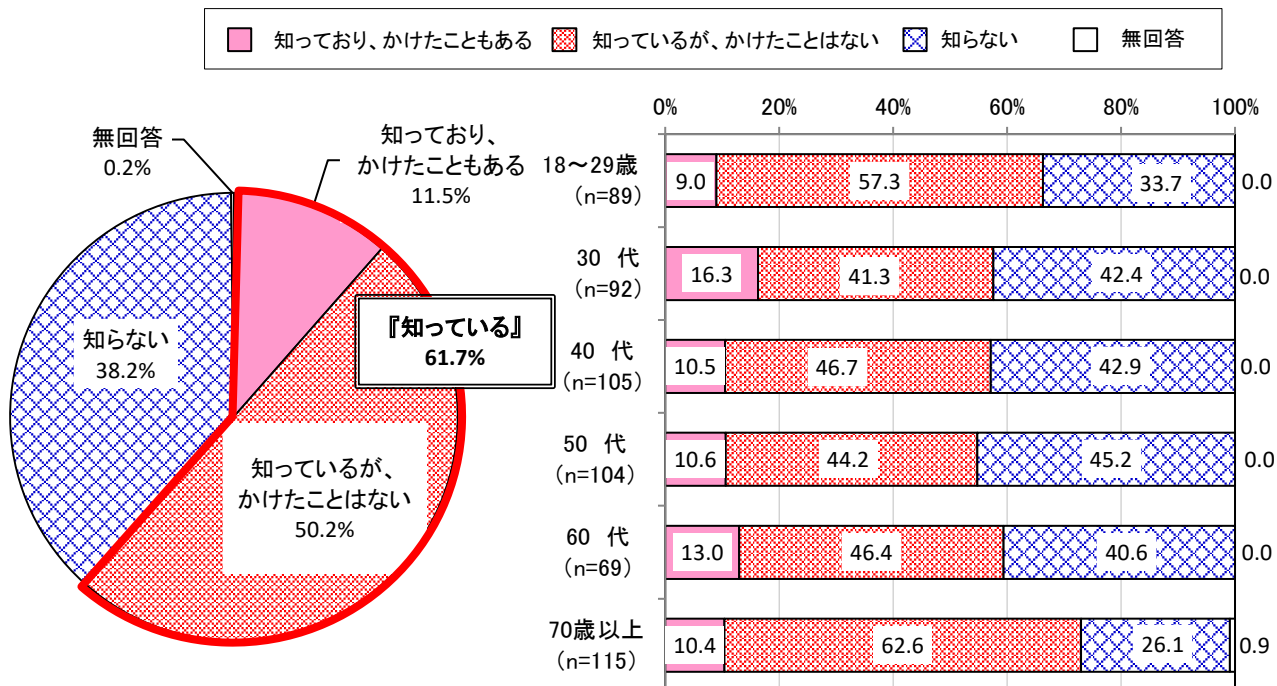
#### ④「救急車の適正利用」について(N=574)

《不適切な要請により救急車の要請が増加していることを知っているか》



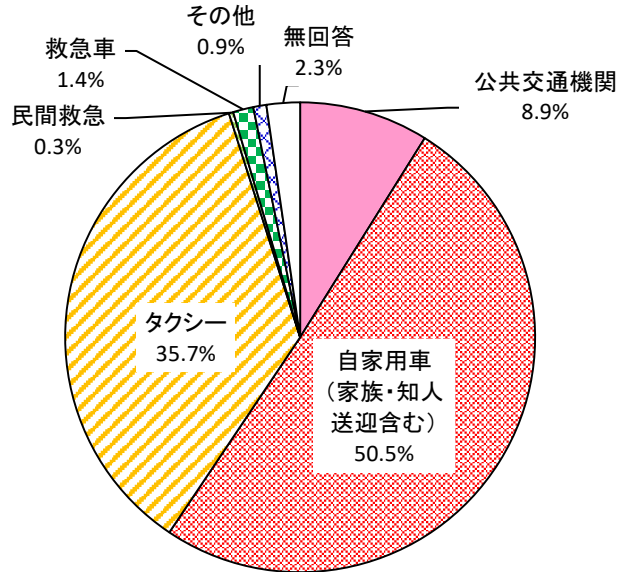
「知っている」と回答した方は全体の90.8%となりました。年代別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、60代で97.1と最も高く、次いで40代で96.2という結果になりました。

《#7119(救急電話相談・医療機関案内)を知っているか、かけたことはあるか》



「知っており、かけたこともある」と回答した方が全体の11.5%となりました。年代別にみると、「知っており、かけたこともある」と回答した方の割合は30代(16.3%)が、他の年代より高くなっています。

◀「#7119」に相談した結果、「病院を受診した方が良いが、救急車で病院に行く必要はありません」というアドバイスを受けた後、病院を受診しようとする場合の交通手段 ▶



※民間救急(患者等搬送事業)

福祉タクシーや介護タクシーと異なり、福岡市消防局長が認定した事業者が、緊急性を有しない傷病者や寝たきりの高齢者などを対象に、ベッドなどを備えた専用車を用いて有料で医療機関または社会福祉施設などに搬送することです。

※#7119(救急電話相談・医療機関案内)

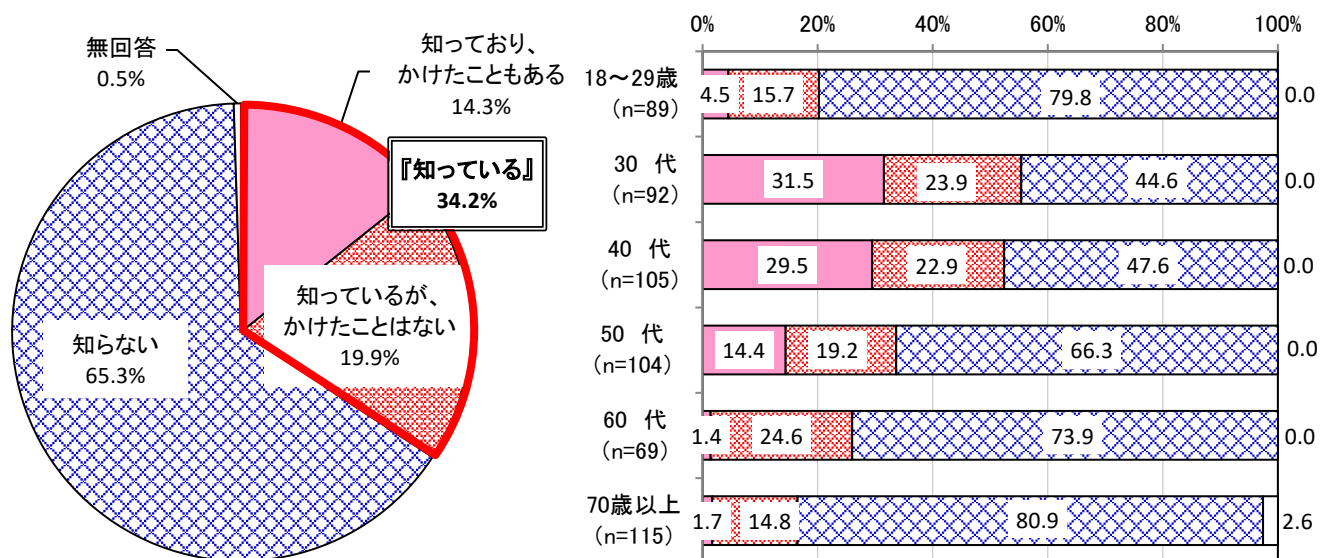
急な病気やケガのときにダイヤルすると、担当の看護師により救急車の利用や、最寄りの医療機関についてアドバイスが受けられます(福岡市以外の自治体でも実施)。

※#8000(小児救急医療電話相談)

子どもが急な病気になり、保護者の方が休日・夜間にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方が良いのかなど判断に迷ったときにダイヤルすると、小児科医師・看護師に電話で相談できます。

◀ #8000(小児救急医療電話相談)を知っているか、かけたことはあるか ▶

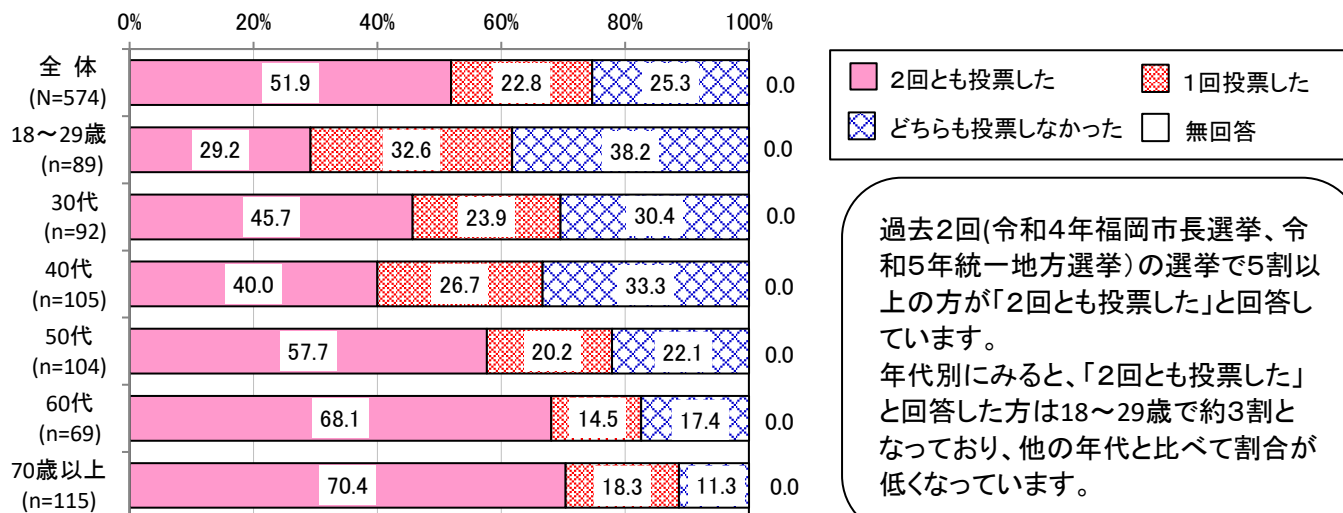
■ 知っており、かけたこともある
 ■ 知っているが、かけたことはない
 ■ 知らない
  無回答



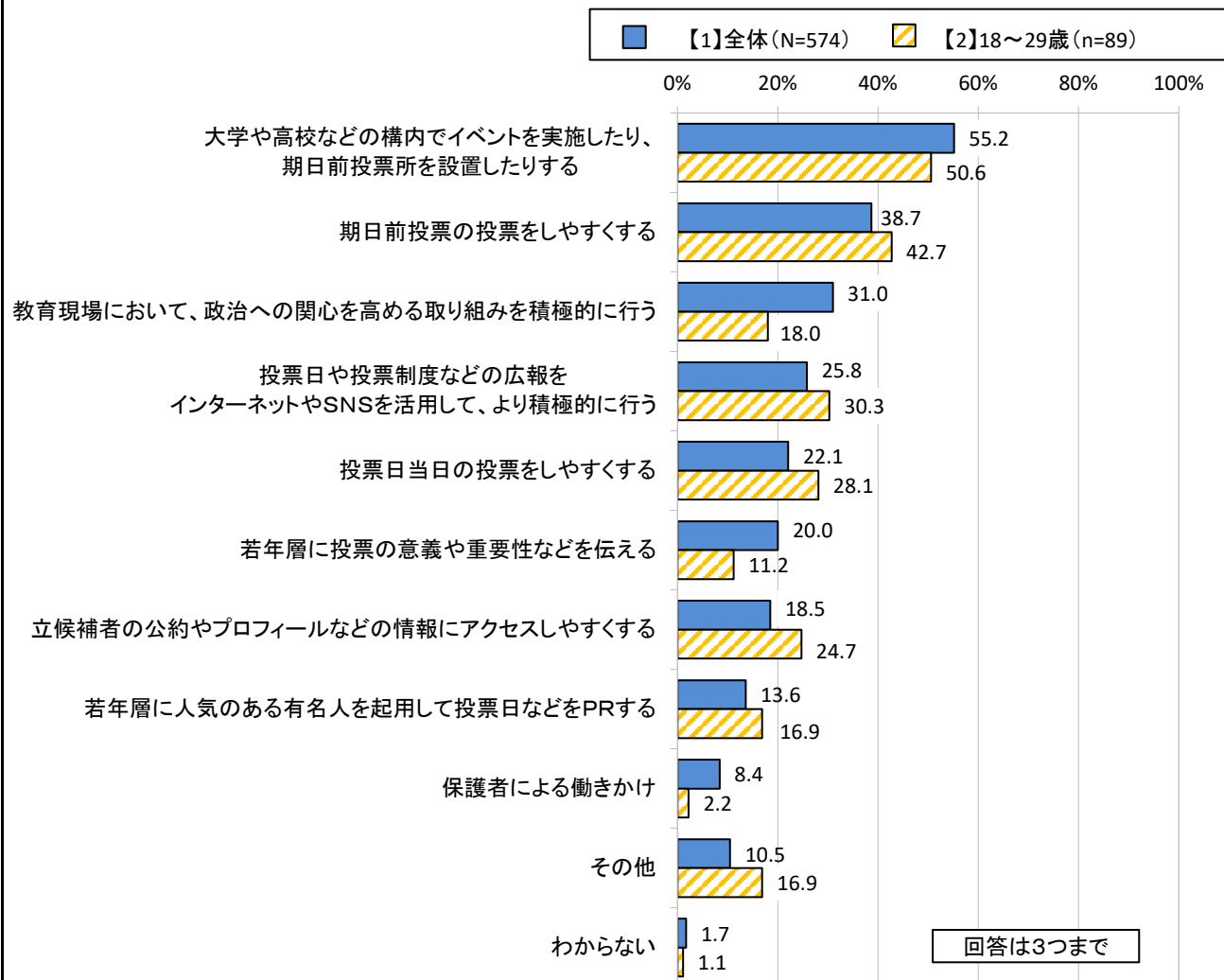
「知っており、かけたこともある」と回答した方が全体の14.3%となりました。年代別にみると、「知っており、かけたこともある」と回答した方の割合は30代(31.5%)が、他の年代より高くなっています。

## ⑤「選挙」について(N=574)

### 《過去2回の選挙での投票状況》



### 《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》



【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすいとする」と回答した方は【2】24.7%が【1】18.5%よりも6.2ポイント高くなりました。

# 第1回市政アンケート調査

## 〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和5年5月25日～6月8日
■調査数	645件
■回答数	574件
■有効回答率	89.0%

1. 「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について  
(担当課：住宅都市局 活用課)
2. 「環境保全の意識」について  
(担当課：環境局 環境政策課)
3. 「ユマニチュード®」について  
(担当課：福祉局 認知症支援課)
4. 「救急車の適正利用」について  
(担当課：消防局 救急課)
5. 「選挙」について  
(担当課：選挙管理委員会 選挙課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている      2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

( 返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

**（提出期限）6月8日（木）までにポストに投函してください。**



## 《「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について》

舞鶴公園と大濠公園は、豊かな花・緑や水辺、歴史（鴻臚館・福岡城）、芸術文化（美術館・能楽堂など）といった、ここにしかない特徴を有しています。

福岡市ではこれらの特徴を活かし、両公園の一体的な活用を図るため、平成26年6月に福岡県と共同で「セントラルパーク構想」を策定し、市民の憩いと集客の拠点とすることを目指してさまざまな施策に取り組んでいます。

### 【現在の利用状況】



▲福岡城さくらまつり



▲秋の舞鶴公園であそぼう



▲多聞櫓ウィーク



▲みどりまちマルシェ

### 【現況図】





問1 あなたは過去1年間に舞鶴公園・大濠公園を利用しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=574) 無回答 0.9

1 どちらの公園も利用した	}	→	問2~3へ	32.6
2 舞鶴公園を利用した				7.7
3 大濠公園を利用した				16.0
4 どちらの公園も利用していない		→	問5へ	42.9

問2 ≪ 問1で「1」～「3」と回答した方におたずねします。≫

あなたは過去1年間に舞鶴公園・大濠公園をどのような目的で利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=323) 無回答 —

1 散策・ウォーキング・ランニング	65.0
2 季節の花々の鑑賞(桜、ウメ、ハスなど)	46.1
3 レクリエーション(ピクニック、遊具利用、バードウォッチングなど)	16.7
4 福岡城・鴻臚館	12.4
5 福岡市美術館、日本庭園、能楽堂	33.4
6 福岡城さくらまつり	38.4
7 イベント・講座・ガイドツアー(上記「6」を除く各種イベント)	9.0
8 陸上競技、球技(野球、サッカー、ラグビー、テニスなど)	2.5
9 カフェ・レストラン	27.6
10 その他(具体的に: )	4.0

問3 ≪ 問1で「1」～「3」と回答した方におたずねします。≫

あなたは、過去1年間に舞鶴公園・大濠公園を利用した際、どのような交通手段で来園しましたか。公園に着く直前の交通手段として、最もよく利用したものを1つだけ選んでください。

(n=323) 無回答 2.8

※「6 徒歩」は徒歩のみで来園した場合を指します。

※(例) 自宅→徒歩→バス→地下鉄→徒歩→公園 この場合は「2 地下鉄」を選択してください。

1 車	}	→	問4へ	29.4
2 地下鉄				26.9
3 バス	}	→	問5へ	15.8
4 バイク				0.6
5 自転車				8.4
6 徒歩				14.6
7 タクシー				0.9
8 その他(具体的に: )				0.6

問4 << 問3で「1」と回答した方におたずねします。>>

あなたは、どこの駐車場を利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n = 95) 無回答 —

1 大濠公園駐車場	36.8
2 タイムズ福岡城三の丸駐車場	18.9
3 舞鶴公園第1駐車場	11.6
4 舞鶴公園第2駐車場	14.7
5 舞鶴公園第3駐車場	5.3
6 護国神社駐車場	11.6
7 その他の駐車場	30.5



【主な周辺駐車場】

<< すべての方におたずねします。>>

問5 舞鶴公園・大濠公園で期待しているところは何ですか。特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N = 574) 無回答 0.7

1 園路を歩きやすくしてほしい	21.4
2 樹木が生い茂り、公園内が暗いので明るくしてほしい	9.8
3 水辺（お濠）の管理を充実してほしい	28.0
4 眺望や見通しをよくしてほしい	16.0
5 施設や歴史の解説や案内を充実してほしい	18.6
6 売店や飲食店などの店舗を充実してほしい	43.9
7 観光拠点として目玉となる施設がほしい	23.5
8 出入り口をわかりやすくしてほしい	16.7
9 イベント・行事を充実してほしい	24.4
10 駐車場を充実してほしい	37.1
11 ベンチ（休憩スペース）を充実してほしい	44.3
12 その他（具体的に： )	8.5
13 特にない	7.5

問6 舞鶴公園・大濠公園についての総合的な満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N = 574) 無回答 0.5

1 満足	25.1
2 どちらかといえば満足	54.4
3 どちらかといえば不満	4.4
4 不満	0.9
5 わからない	14.8

《「環境保全の意識」について》

私たちを取り巻く環境問題は、気候変動による自然災害などの増加、プラスチックごみによる海洋汚染、黄砂やPM2.5といった越境大気汚染など、複雑多様化しており、環境啓発の推進に努める必要があります。

問7・問8 環境を守ったり、良くしたりするためには、一人ひとりの行動が大切です。あなたは①日頃、次のことを実行していますか。また、②今後はどのようにお考えですか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=574)		問7					問8				
		① 現在					② 今後				
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	該当しない	無回答	実行したい	どちらかといえば実行したい	どちらかといえば実行したくない	実行したくない	無回答
例	(0)○○○○○	1	2	③	4		1	②	3	4	
	(1)外出時はマイバッグを持参している	69.7	22.3	5.6	1.0	1.4	77.7	12.9	3.7	1.4	4.4
	(2)エコマーク・グリーンマークなどのついた、環境に優しい製品を選ぶよう心がけている	8.0	34.5	50.3	5.1	2.1	31.4	55.9	5.9	3.5	3.3
	(3)食品は、同じものであれば、近くでとれた農産品を買うようにしている	25.6	45.6	23.5	3.8	1.4	45.1	46.3	2.8	2.1	3.7
	(4)冷房時の室温は28℃、暖房時の室温は20℃を目安にしている	27.4	37.1	31.9	2.4	1.2	42.5	35.5	12.7	5.4	3.8
	(5)屋上や壁面、ベランダ、庭で植物を育て、緑化に取り組んでいる	32.2	18.6	39.5	8.2	1.4	42.2	33.3	12.9	8.0	3.7
	(6)古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	62.4	19.0	15.5	1.9	1.2	70.0	18.6	5.1	2.6	3.7
	(7)外出時はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するようにしている	39.0	34.3	21.6	3.8	1.2	49.1	34.7	9.1	3.5	3.7
	(8)自動車を使用するときは、不要なアイドリングや空ぶかし、急発進などをしないようにしている	52.4	15.0	3.3	26.8	2.4	74.0	14.1	0.9	3.5	7.5

問9・問10 あなたは、市・区役所や地域の環境に関する活動について、①過去1年以内に参加したことがありますか。また、②今後はどのようにお考えですか。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=574)	問9			問10				
	①1年以内			②今後				
	参加したことがある	参加したことがない	無回答	参加したい	参加したい どちらかといえば	参加したくない どちらかといえば	参加したくない	無回答
(1) 自然環境の保全につながる活動(河川・海岸清掃、自然環境イベントへの参加など)	11.1	88.0	0.9	15.9	45.1	27.5	9.4	2.1
(2) リサイクル活動(地域集団回収、資源物回収拠点への持参、段ボールコンポストなど)	59.4	39.7	0.9	39.7	38.5	13.9	5.6	2.3
(3) 脱炭素につながる活動(再生可能エネルギー・省エネルギーに関する各種講座やイベントへの参加など)	5.4	93.0	1.6	12.0	43.2	31.5	11.0	2.3
(4) 環境美化活動(地域清掃、緑化活動、花壇の整備など)	29.6	68.8	1.6	22.6	43.2	24.0	7.7	2.4

1つでも「3」「4」と回答した方は問11へ

問11 << 問10で1つでも「3」「4」と回答した方におたずねします。>>  
そのように考える理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=294) 無回答 —

- |                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 1 時間帯の都合が合わないから                 | 40.5 |
| 2 仕事や家事などで時間がとれないから             | 57.1 |
| 3 費用がかかるから(交通費や参加費など)           | 11.6 |
| 4 健康や体力面で、活動に参加することが難しいから       | 25.9 |
| 5 団体活動などの情報が得られないから             | 15.6 |
| 6 参加しても環境保全に役立つのかわからないから        | 16.7 |
| 7 一人では参加しにくいから(一緒に参加する仲間がいないから) | 31.6 |
| 8 その他(具体的に: )                   | 6.1  |
| 9 興味がないから                       | 9.5  |

《 すべての方におたずねします。 》

問12 あなたは、環境についてどのような情報に関心がありますか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N = 574)	関心がある	関心がある どちらかといえば	関心がない どちらかといえば	関心がない	無回答
(1) まちなかの緑や水辺など自然の美しさ	60.5	34.3	3.7	1.2	0.3
(2) 生きものの種類や数、生息する場所といった生物多様性	37.5	36.9	21.1	3.5	1.0
(3) 地球温暖化などの地球環境問題	43.9	46.5	6.4	2.4	0.7
(4) 再生可能エネルギーや省エネルギー	39.5	44.3	12.9	2.6	0.7
(5) 購入する製品・サービスが環境に与える影響	30.8	49.1	16.2	3.1	0.7
(6) 自然とふれあうための施設やイベント・セミナー	26.1	41.5	25.8	5.6	1.0
(7) 市民・団体・企業が行う環境活動	16.7	45.1	30.8	6.4	0.9
(8) 環境問題に関する市の取組み	29.6	51.4	15.3	3.1	0.5

## 《「ユマニチュード®」について》

福岡市は、認知症の人々が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる「認知症フレンドリーシティ」を目指し、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」の普及に取り組んでいます。

「ユマニチュード」は40年以上前にフランスで考案されたもので、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方（哲学）からできています。

ユマニチュードのケアを用いて認知症の人と良い関係をつくることで、認知症の行動・心理症状と呼ばれる暴言・暴力などの症状が起こりにくくなり、また、家族介護者や医療・介護の専門職のケアの質の向上と負担軽減に効果があることが確認されています。

ユマニチュードでは「あなたのことを大切に思っています」ということを手がかりに、相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

### 話す

穏やかに、低めのトーンでゆっくりと話しましょう。

### 見る

認知症の人は認識できる範囲が狭くなっているため、正面から水平に、近くで見つめましょう。

### 触れる

広い面積で、ゆっくりと包み込むように触れましょう。

### 立つ

1日の暮らしの中で合計20分間立つ時間を作れば、寝たきりになることを防げます。



イラスト提供：日本ユマニチュード学会

問13 あなたは、「ユマニチュード」を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=574) 無回答 0.3

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1 言葉も、内容も知っている      | 8.9  |
| 2 言葉は知っているが、内容は知らない | 10.1 |
| 3 言葉も、内容も知らない       | 80.7 |

問14 あなたは、これまでに認知症の人（認知症と思われる人を含む）と接したことがありますか。

あてはまるものをすべて選んでください。(N=574) 無回答 0.2

- |                                       |      |
|---------------------------------------|------|
| 1 家族に認知症の人がいる（いた）                     | 41.8 |
| 2 友人・知人に認知症の人がいる（いた）                  | 15.0 |
| 3 近所で認知症の人と接したことがある                   | 13.1 |
| 4 医療・介護の現場で働いている（いた）ため、認知症の人と接したことがある | 13.2 |
| 5 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある    | 4.4  |
| 6 認知症の人を見かけたことがある                     | 25.4 |
| 7 その他（具体的に： )                         | 2.3  |
| 8 認知症の人と接したことも、見かけたこともない              | 22.3 |



問 15 あなたは、ユマニチュードについてどのような情報がほしいですか。特にあてはまるものを 2つまで選んでください。(N=574) 無回答 0.7

1	誰でもできるユマニチュードのやり方（ポイントなど）	67.8
2	ユマニチュードを個人で学ぶ方法（動画など）	23.2
3	ユマニチュード講座※ <sup>1</sup> 開催情報（日時・内容・対象者など）	9.9
4	福岡市のユマニチュードに関する取り組み	38.2
5	その他（具体的に： )	0.9
6	特になし	13.2

※1 ユマニチュード講座について

福岡市では、市民講座や家族・介護者向け講座、医療・介護施設などの専門職向け講座、地域や児童生徒向けの講座など、対象に応じた講座を開催しています。

問 16 あなたは、ユマニチュードについて、市がどのような取り組みを行うと認知症の人が安心して暮らせるまちに近づくとお考えですか。特にあてはまるものを 3つまで選んでください。

(N=574) 無回答 0.9

1	家庭（家族介護者）へのユマニチュードの普及啓発	44.1
2	地域の人へのユマニチュードの普及啓発	41.5
3	学校教育の中でユマニチュードを学ぶ機会の創出	44.8
4	企業・働く世代に向けたユマニチュードの普及啓発	27.7
5	医療・介護施設などの専門職へのユマニチュードの普及啓発	15.7
6	誰でも気軽にユマニチュードを学べる体制づくり	35.7
7	ユマニチュードに関するイベントの実施	9.6
8	広報媒体（市政だより、SNS など）を活用した情報発信	29.1
9	その他（具体的に： )	1.2
10	特になし	3.7

## 《 「救急車の適正利用」 について 》

昨今救急車の要請が増加しており、令和4年については昨年比約21%増加し、94,792件の救急出動がありました。救急要請の中には、単なる酒酔いや打撲、切り傷などによるもののほか、病院までのタクシー代わりに要請するなど、不適切な要請が見受けられます。そこで、本当に救急車が必要な方の搬送のために、福岡市・県・国などの行政機関では、ホームページや市政だよりなど様々な媒体を活用し救急車の適正利用をお願いしています。

問17 あなたは、不適切な要請により救急車の要請が増加していることを、知っていますか。

あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=574) 無回答 0.3

- |         |      |
|---------|------|
| 1 知っている | 90.8 |
| 2 知らない  | 8.9  |

問18 急な病気やケガのとき、#7119（救急電話相談・医療機関案内）にダイヤルすると、担当の看護師により救急車の利用や、最寄りの医療機関についてアドバイスが受けられます（福岡市以外の自治体でも実施）。あなたは#7119を知っていますか。また、実際に#7119にかけたことはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=574) 無回答 0.2

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1 知っており、かけたこともある  | 11.5 |
| 2 知っているが、かけたことはない | 50.2 |
| 3 知らない            | 38.2 |



問19 「#7119」に相談した結果、「病院を受診した方が良いが、救急車で病院に行く必要はありません」というアドバイスを受けたとします。これから病院を受診しようとする場合、あなたは、どの交通手段を利用すると思いますか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。(N=574) 無回答 2.3

- |                      |      |
|----------------------|------|
| 1 公共交通機関             | 8.9  |
| 2 自家用車（家族・知人送迎含む）    | 50.5 |
| 3 タクシー               | 35.7 |
| 4 民間救急 <sup>※2</sup> | 0.3  |
| 5 救急車                | 1.4  |
| 6 その他（具体的に： )        | 0.9  |

※2 民間救急（患者等搬送事業）とは  
福祉タクシーや介護タクシーと異なり、福岡市消防局長が認定した事業者が、緊急性を有しない傷病者や寝たきりの高齢者などを対象に、ベッドなどを備えた専用車を用いて有料で医療機関または社会福祉施設などに搬送することです。



問 20 子どもが急な病気になり、保護者の方が休日・夜間にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方が良いのかなど判断に迷ったとき、#8000（小児救急医療電話相談）にダイヤルすると、小児科医師・看護師に電話で相談できます。あなたは、#8000を知っていますか。また、実際に#8000にかけたことはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=574）無回答 0.5

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1 知っており、かけたこともある  | 14.3 |
| 2 知っているが、かけたことはない | 19.9 |
| 3 知らない            | 65.3 |

問 21 あなたは、本当に救急車が必要な方の搬送のために、どのようなことが必要だと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。（N=574）無回答 0.5

- |                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 1 救急車 <sup>※3</sup> を「増やす」        | 12.9 |
| 2 適正利用について「PR（広報）」                | 54.5 |
| 3 行政による「#7119・#8000」の拡充及び周知       | 65.0 |
| 4 救急車以外の「民間救急」の活用及び拡充             | 23.9 |
| 5 救急車の「有料化」                       | 33.4 |
| 6 身近に「相談できる相手・環境」を築く              | 16.6 |
| 7 「かかりつけ医」を見つける                   | 21.4 |
| 8 1人1人が「予防救急 <sup>※4</sup> 」に取り組む | 22.0 |
| 9 その他（具体的に： )                     | 4.2  |
| 10 特にない                           | 0.5  |

※3 救急車について

福岡市の救急車は推計人口約163万人（令和5年4月現在）の市民に対し33隊の救急隊で対応しています。1日あたり平均259.7件、5分32秒に1回の救急出動をしており、助けを求める市民の皆様のため、日夜フル活動しています。

※4 予防救急とは

事故の原因や注意点、予防ポイントを知り、救急搬送につながる病気やけがを未然に防ぐ取り組みです。例えば建物内での転倒、食事時の窒息、熱中症を予防するなどがあります。

## 《「選挙」について》

選挙は間接民主制の基盤です。有権者は積極的に投票し、自分たちの意見を正しく政治に反映させることが大切です。しかしながら、近年における選挙の投票率は低下傾向にあるため、福岡市では、選挙に関する情報の発信や、政治への関心を高めていただくための取り組みを行っております。

問 22 あなたは、過去2回の選挙（令和4年11月20日福岡市長選挙、令和5年4月9日統一地方選挙）で投票しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=574) 無回答 —

1	2回とも投票した	→	問24へ	51.9
2	1回投票した	} →	問23へ	22.8
3	どちらも投票しなかった			25.3

問 23 《 問 22 で「2」「3」と回答した方におたずねします。 》

投票していない理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

(n=276) 無回答 0.4

1	仕事や用事などで時間がないから	38.4
2	市外にいたから	15.6
3	病気（看病を含む）、または体調が悪いから	11.6
4	投票に行くのが面倒だから	15.6
5	投票所が遠い（不便、わからない）から	5.4
6	投票日を知らない、または忘れるから	6.5
7	適当な候補者がいないから	32.6
8	候補者に関する情報がわからないから	19.2
9	自分一人が投票しなくても選挙の結果に影響がないと思うから	16.7
10	選挙によって政治や暮らしに影響があると思わないから	15.9
11	選挙権がないから（住所要件など）	2.2
12	政治や選挙には関心がないから	5.4
13	外出を控えているから	1.8
14	その他（具体的に： _____ )	6.2

《 すべての方におたずねします。 》

問 24 令和4年11月20日に行われた福岡市長選挙の際、福岡市では投票日や投票制度などの広報を実施しましたが、あなたが気付いたものは次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=574) 無回答 —

- |                                      |                  |      |
|--------------------------------------|------------------|------|
| 1 市の関連施設に掲出したポスター※5                  | ※但し、立候補者のポスターは除く | 46.7 |
| 2 市の関連施設に掲出したのぼり                     |                  | 13.9 |
| 3 市役所・区役所・出張所に掲出した横断幕、懸垂幕            |                  | 15.0 |
| 4 商業施設（期日前投票所含む）での広報（ポスターの掲示、館内放送など） |                  | 26.0 |
| 5 市政だより                              |                  | 56.3 |
| 6 テレビCM                              |                  | 40.4 |
| 7 啓発動画（天神や博多駅の大型ビジョン）※6              |                  | 7.5  |
| 8 選挙に関するホームページ                       |                  | 3.8  |
| 9 福岡市SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）での広報      |                  | 7.5  |
| 10 インターネット検索サイトやSNSへの広告掲載※7          |                  | 5.6  |
| 11 電車・バス車内での広告掲示                     |                  | 15.2 |
| 12 駅構内での広報（ポスター、チラシ、放送、電光表示器など）      |                  | 11.3 |
| 13 広報車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く）          |                  | 13.4 |
| 14 啓発物資（ポケットティッシュ、マスクなど）の配布          |                  | 1.0  |
| 15 シネアド（映画館での作品上映前の広告）               |                  | 0.9  |
| 16 その他（具体的に： _____ )                 |                  | 2.4  |
| 17 気付いたものはない                         |                  | 7.1  |

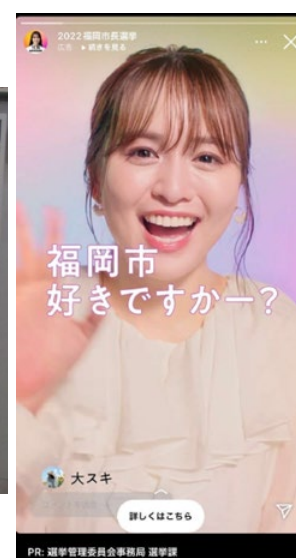
【福岡市の実施した広報の一例】



※5 ポスター



※6 啓発動画



※7 SNS広告

問 25 福岡市では、選挙が近くなると、投票日や投票制度などの広報を実施していますが、あなたが効果的だと思う選挙広報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=574) 無回答 0.7

1 市政だより（「せんきよかわら版」を含む）	46.7
2 テレビCM	65.5
3 ラジオCM	17.1
4 啓発動画（天神や博多駅の大型ビジョン）	20.4
5 選挙に関するホームページ	8.0
6 福岡市SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）での広報	28.4
7 インターネット検索サイトやSNSへの広告掲載	26.0
8 新聞への広告掲載	21.8
9 商業施設（期日前投票所含む）やコンビニエンスストアでの広報（レジ広告、店内放送、ポスター、チラシなど）	40.2
10 電車・バス車内での広告掲示	41.8
11 駅構内での広報（ポスター、チラシ、放送、電光表示器など）	26.3
12 広報車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く）	12.5
13 模擬投票などのイベント	4.2
14 大学や高校内での広報（ポスター、チラシ、のぼりなど）	18.5
15 その他（具体的に： )	1.9

問 26 あなたが選挙で投票するにあたり、必要だと思う情報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=574) 無回答 0.3

1 投票日	69.7
2 投票日当日の投票所の場所・時間	63.9
3 期日前投票の日時や場所	67.2
4 投票方法（投票の流れや持参物、投票用紙への記載内容など）	23.2
5 入院などの理由により、病院や老人ホームなどの施設で投票する制度の説明	16.9
6 出張などの理由により、市外で投票する制度の説明	15.2
7 体に障がいのある方などが郵便で投票する制度の説明	15.3
8 立候補者に関する情報（政策など）	57.8
9 過去の選挙の投票結果や投票率	8.7
10 投票所の混雑状況に関する情報	11.5
11 その他（具体的に： )	2.8
12 特にない	2.3

問 27 いずれの選挙においても、全体の投票率と比較すると、20代の投票率は低くなっています。そこで、若年層の投票率を向上させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。(N=574) 無回答 3.5

- |    |   |      |
|----|---|------|
| 1  | 投票日当日の投票をしやすくする(投票所の増設など)                 | 22.1 |
| 2  | 期日前投票の投票をしやすくする(投票所の増設、投票時間の延長など)         | 38.7 |
| 3  | 大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする      | 55.2 |
| 4  | 投票日や投票制度などの広報をインターネットやSNSを活用して、より積極的に行う   | 25.8 |
| 5  | 若年層に人気のある有名人を起用して投票日などをPRする               | 13.6 |
| 6  | 立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすくする            | 18.5 |
| 7  | 若年層に投票の意義や重要性などを伝える(ポスター、チラシ、テレビCMなど)     | 20.0 |
| 8  | 教育現場において、政治への関心を高める取り組み(模擬選挙の実施など)を積極的に行う | 31.0 |
| 9  | 保護者による働きかけ(日頃から家庭の中で政治の話をするような取り組みなど)     | 8.4  |
| 10 | その他(具体的に: )                               | 10.5 |
| 11 | わからない                                     | 1.7  |

選挙制度や投票区・投票所一覧など選挙に関する情報については、  
福岡市選挙管理委員会ホームページにてご覧いただけます。



明るい選挙キャラクター  
選挙のめいすいくん

福岡市 選挙

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。  
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて  
ご返送をお願いします。

【標本構成（第1回）】（N=574）

◆性別

男性	43.9
女性	56.1

◆年齢

18～29歳	15.5
30代	16.0
40代	18.3
50代	18.1
60代	12.0
70歳以上	20.0

◆職業

正社員・正職員	38.5
契約社員・派遣社員・嘱託	6.8
パート・アルバイト	15.2
会社等役員	2.8
自営業・家族従事者	4.7
専業主婦・専業主夫	14.3
学生	4.0
無職	12.5
その他	1.2

◆行政区

東区	23.5
博多区	12.7
中央区	12.4
南区	16.9
城南区	9.1
早良区	12.4
西区	13.1

◆居住年数

3年未満	8.9
3年以上5年未満	6.3
5年以上10年未満	13.1
10年以上20年未満	19.5
20年以上30年未満	17.8
30年以上	34.5

◆居住形態

持家の戸建て	31.4
持家の集合住宅	25.4
賃貸の戸建て	2.3
賃貸の集合住宅	39.0
社宅・寮	1.4
その他	0.5

◆18歳未満の同居家族

いる	30.8
いない	63.4
無回答	5.7

◆65歳以上の同居家族

いる	38.2
いない	60.6
無回答	1.2

◆回答方法

郵送	40.4
インターネット	59.6

# 令和5年度 市政アンケート調査 第2回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 : 令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第2回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和5年6月23日から7月7日まで
- (2) 調査対象者数
- 642人
- (3) 回答者数
- 548人
- (4) 有効回答率
- 85.4%
- (5) 調査テーマ
- ①「ふくおかさん家のうまかもん」について
  - ②「消費生活」について
  - ③「地域の福祉活動」について
  - ④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について
  - ⑤「福岡市の教育」について

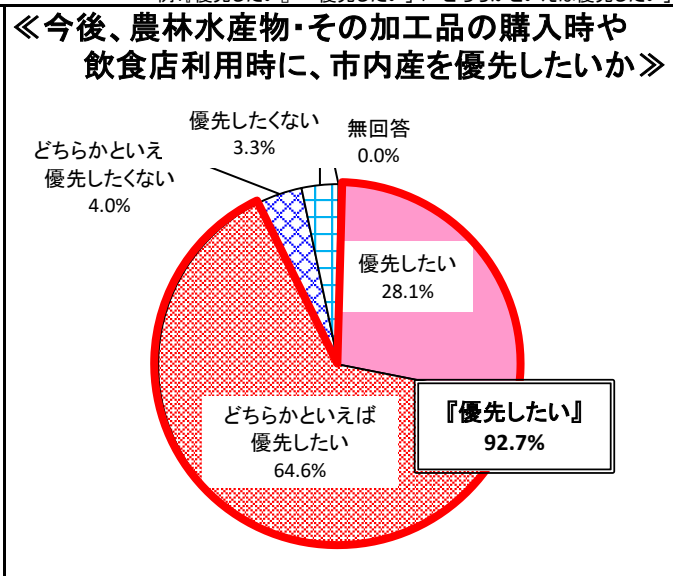
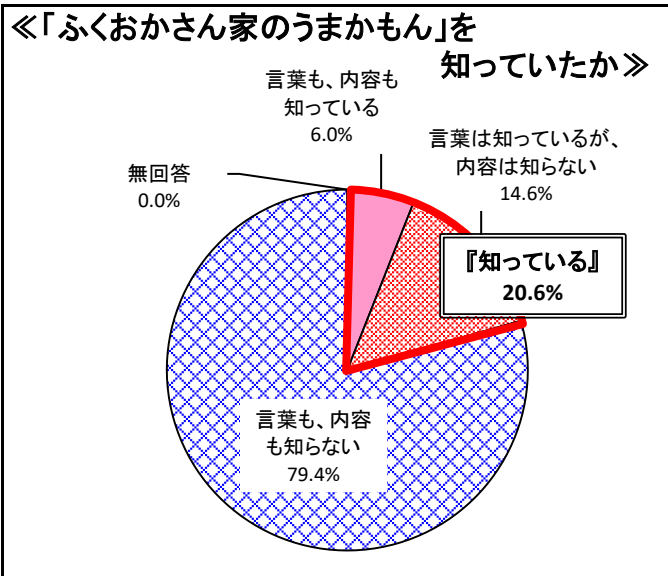
## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

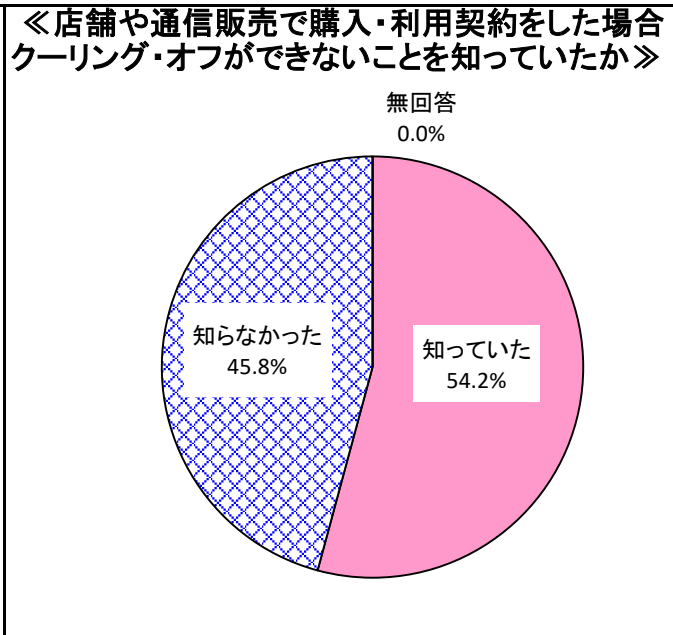
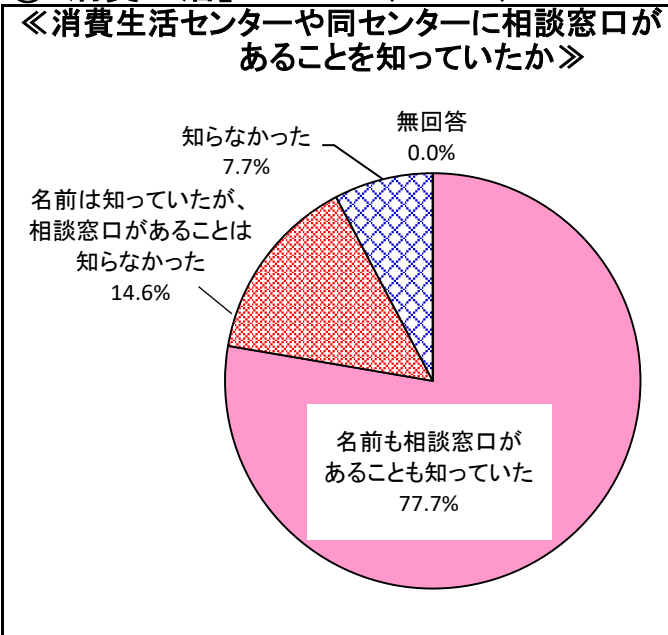


①「ふくおかさん家のうまかもん」について(N=548)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例:『優先したい』=「優先したい」+「どちらかといえば優先したい」

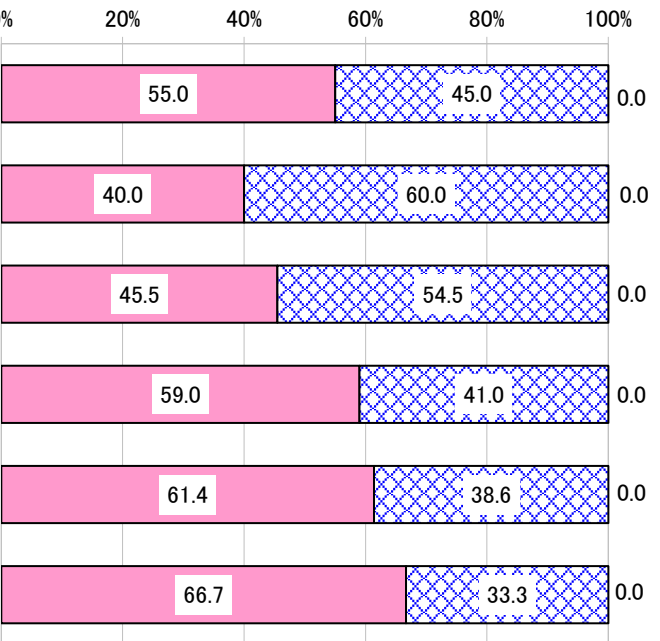
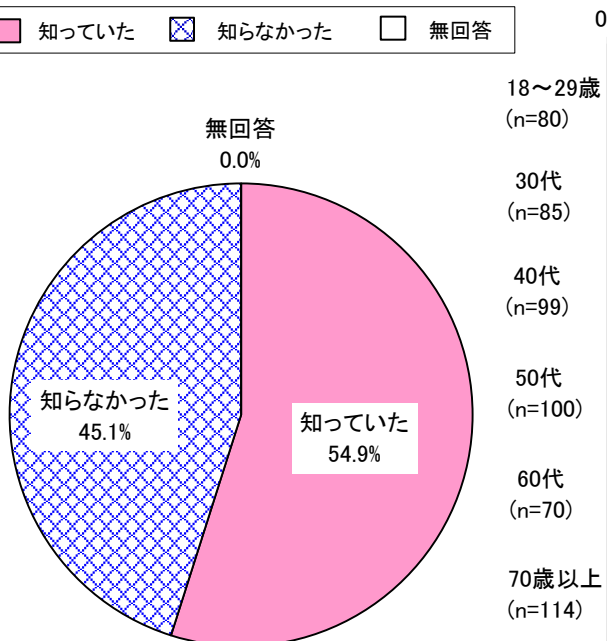


②「消費生活」について(N=548)



令和4年4月から「未成年者取消権」が18歳、19歳に適用されなくなったことを知っていたか

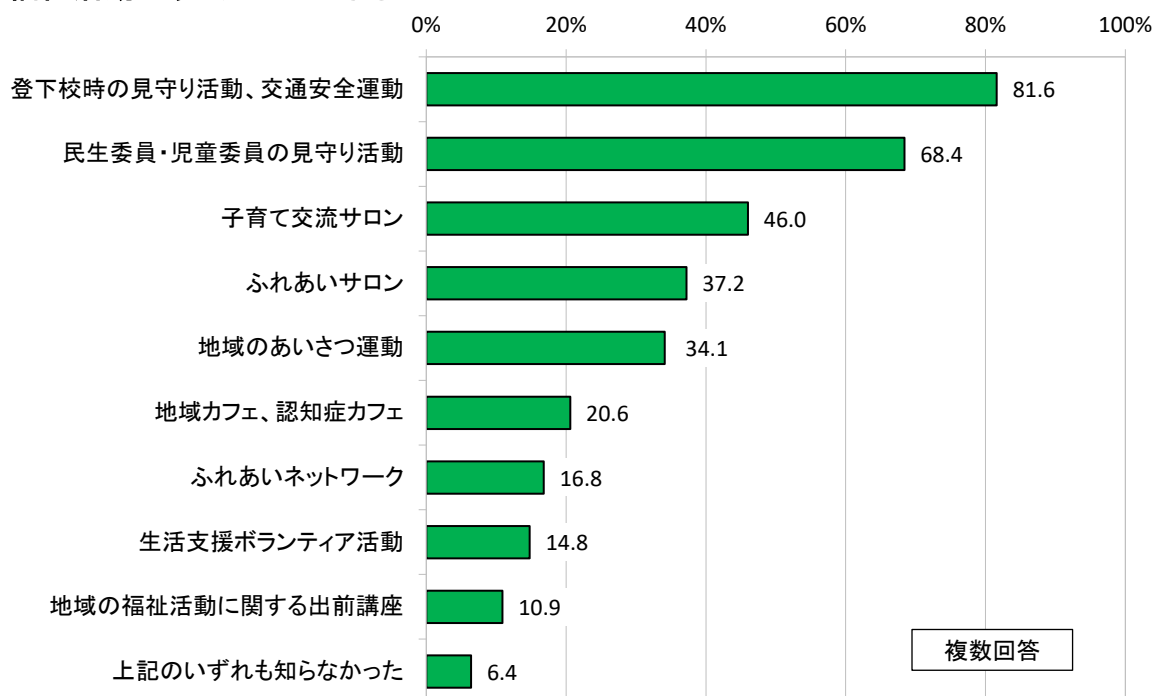
知っていた (pink), 知らなかった (blue checkered), 無回答 (white)





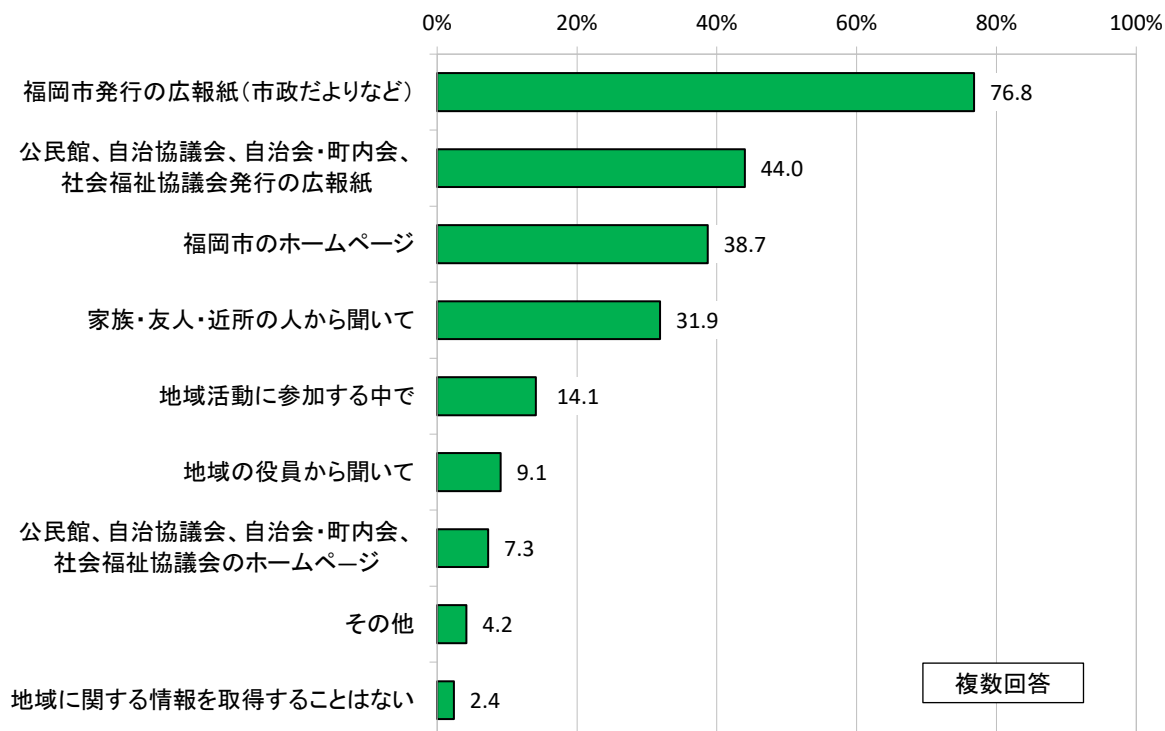
### ③「地域の福祉活動」について(N=548)

#### 《地域の福祉活動のうち知っているもの》



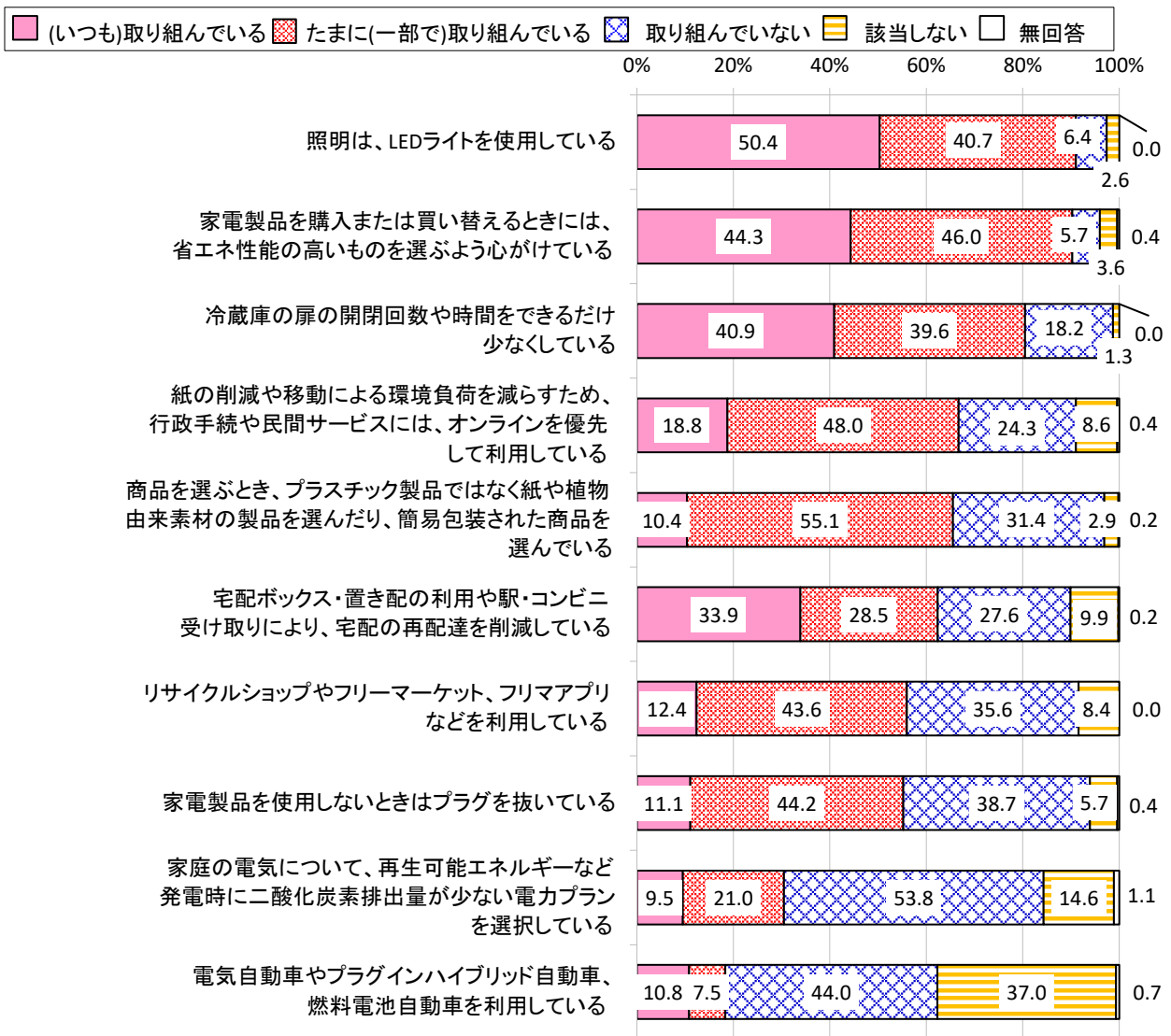
「登下校時の見守り活動、交通安全運動」と回答した方が81.6%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員の見守り活動」が68.4%となりました。

#### 《地域に関する情報をどのような方法で取得するか》

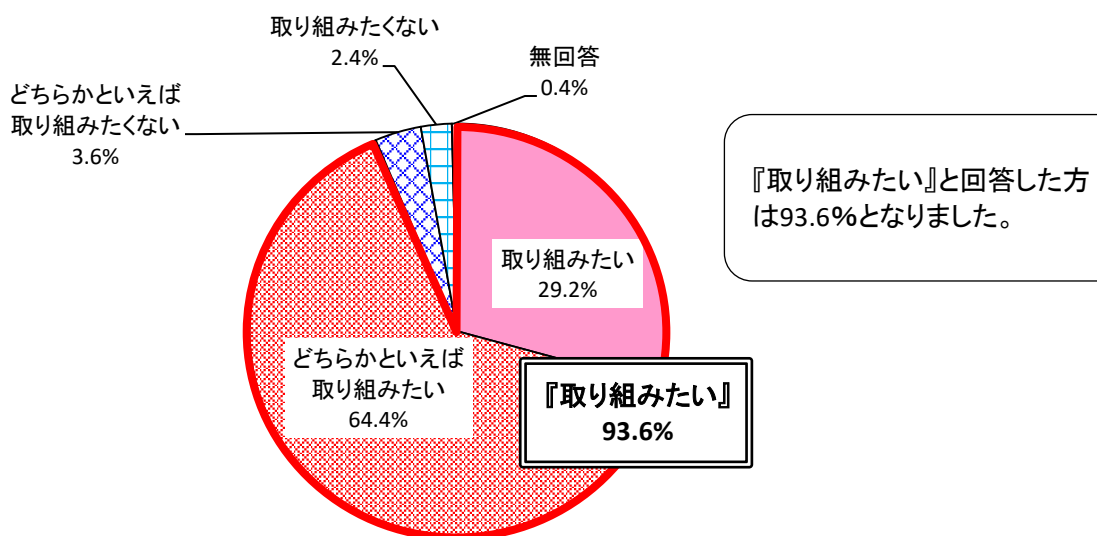


#### ④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について(N=548)

##### 《脱炭素行動について》

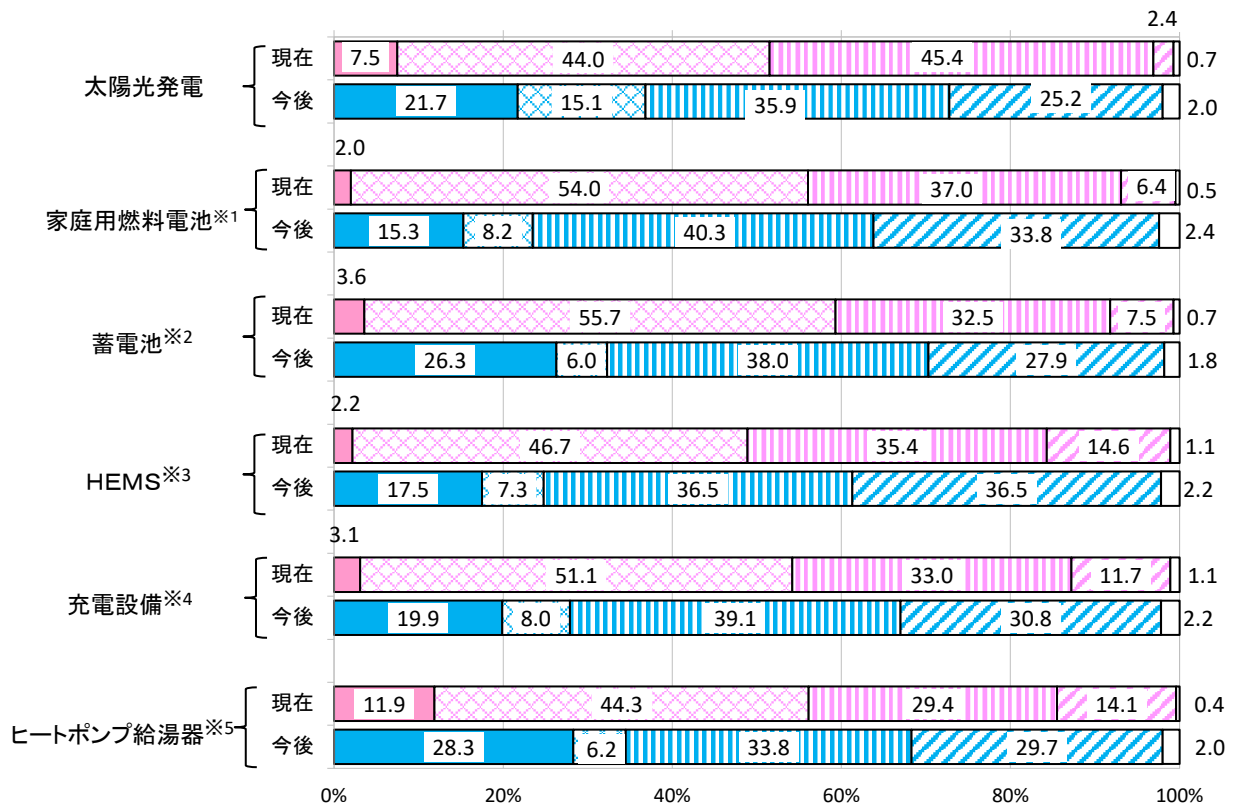


##### 《脱炭素行動に取り組みたいと思うか》



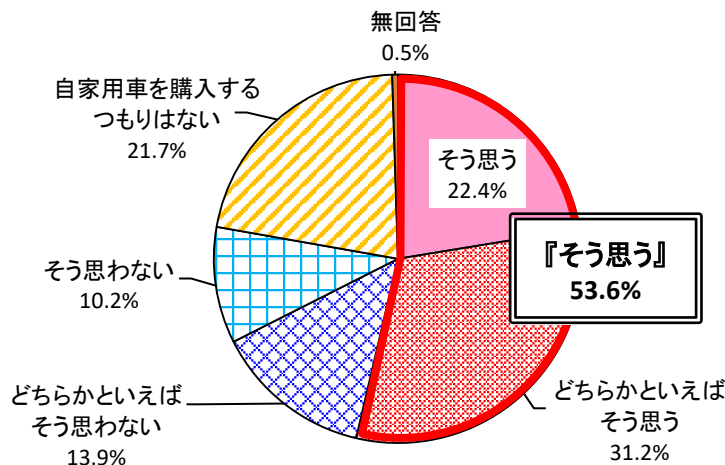
## 《省エネ・再エネ設備の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答  
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答



- ※1 家庭用燃料電池（エネファーム）  
：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
- ※2 蓄電池  
：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
- ※3 HEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）  
：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
- ※4 充電設備  
：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備
- ※5 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）  
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

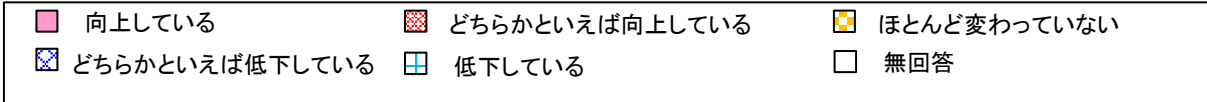
## 《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》



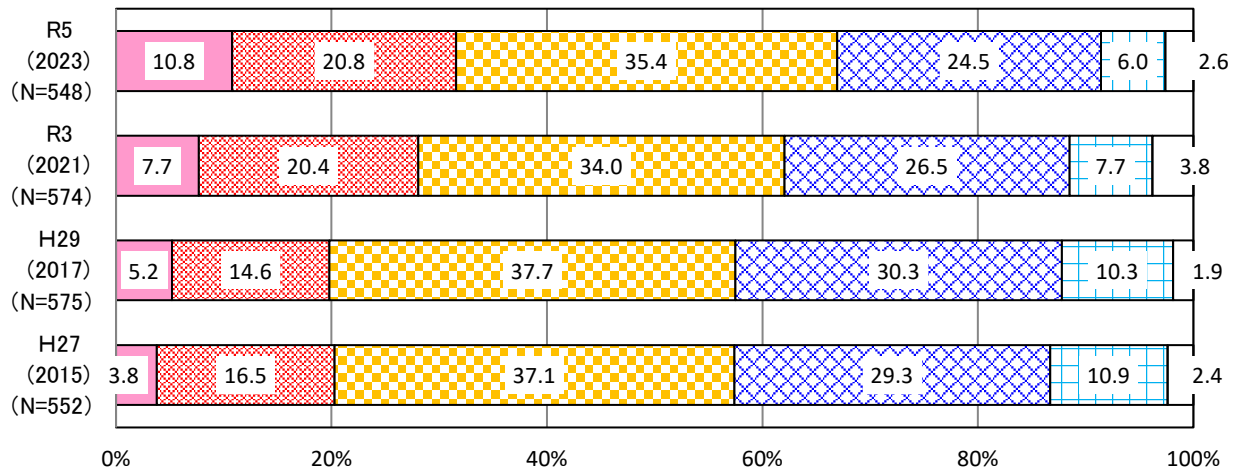
『そう思う』と回答した方は53.6%となりました。

### ⑤「福岡市の教育」について(N=548)

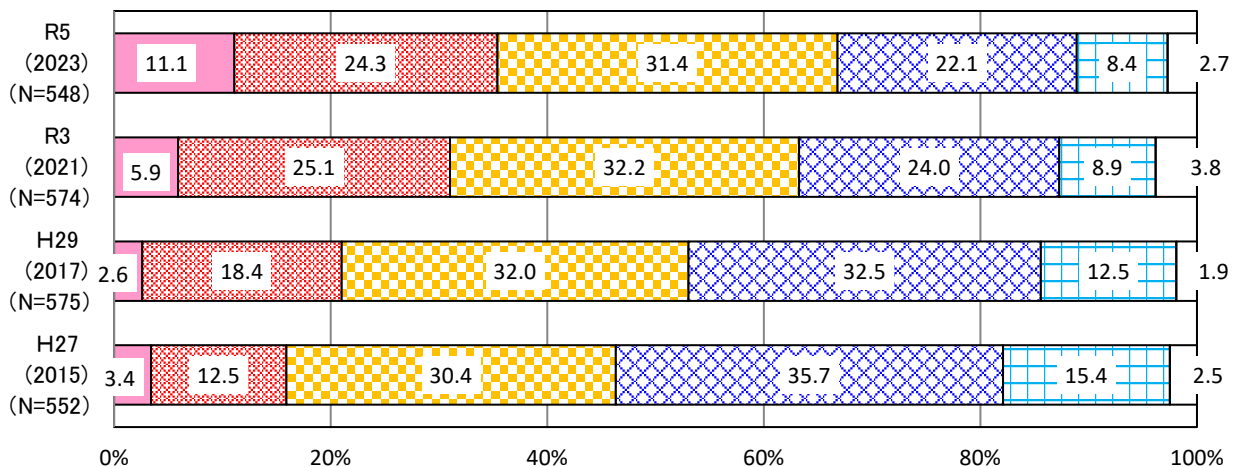
《あなたが子どもだった頃に比べて周りの子どもの状況をどのように感じるか(項目別:抜粋)》



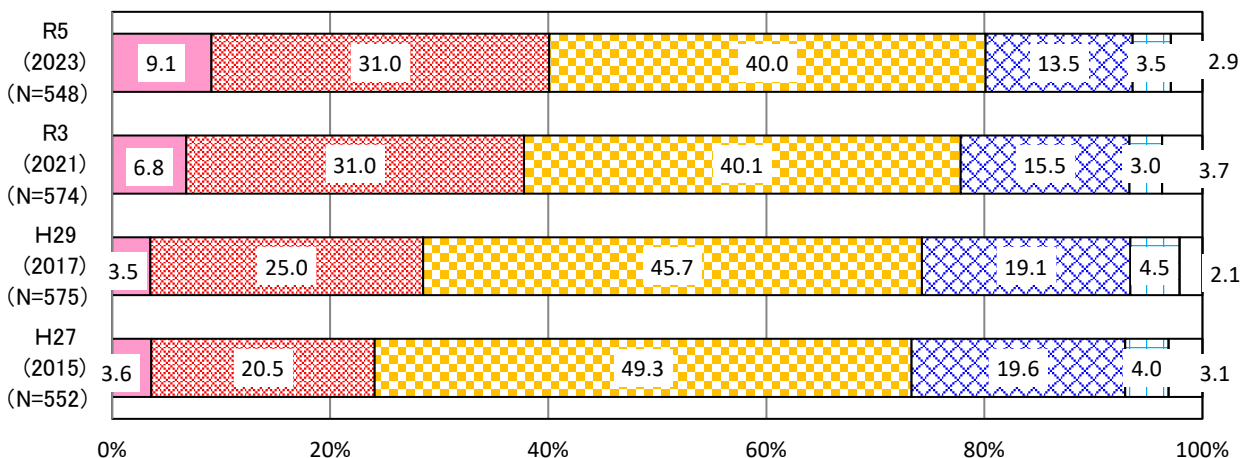
#### ■あいさつや掃除などの基本的な生活習慣



#### ■社会のルールを守り、マナーを大切にする気持ち



#### ■将来の夢に向かって自分を伸ばそうとする力

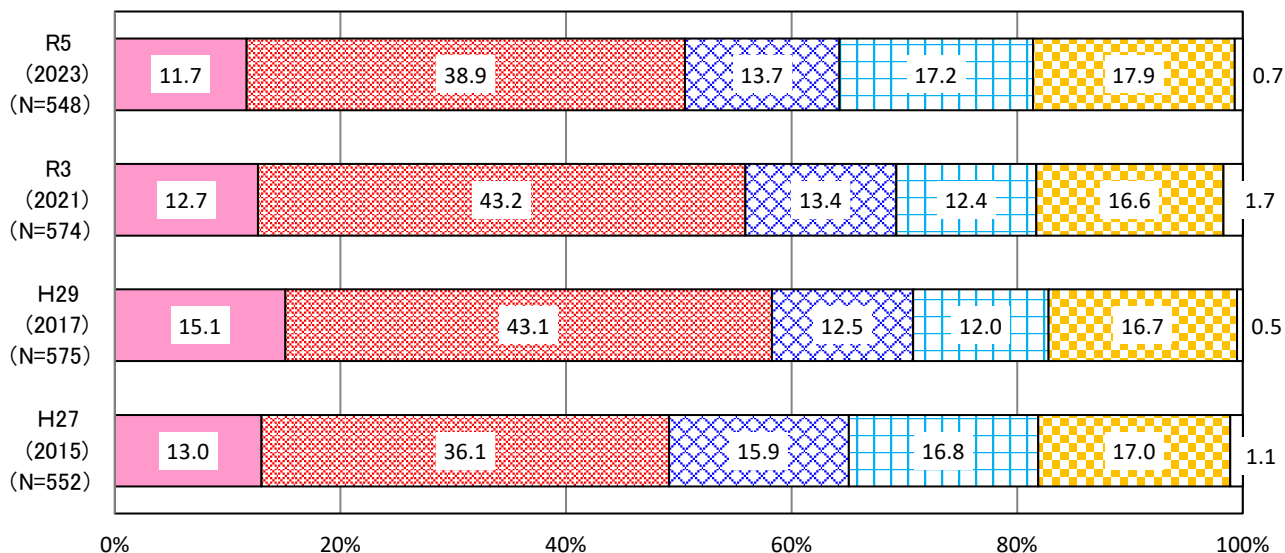


「あいさつや掃除などの基本的な生活習慣」「社会のルールを守り、マナーを大切にする気持ち」「将来の夢に向かって自分を伸ばそうとする力」は、平成27年度から令和5年度間の調査結果を比べると、『向上している』が増加傾向にあります。

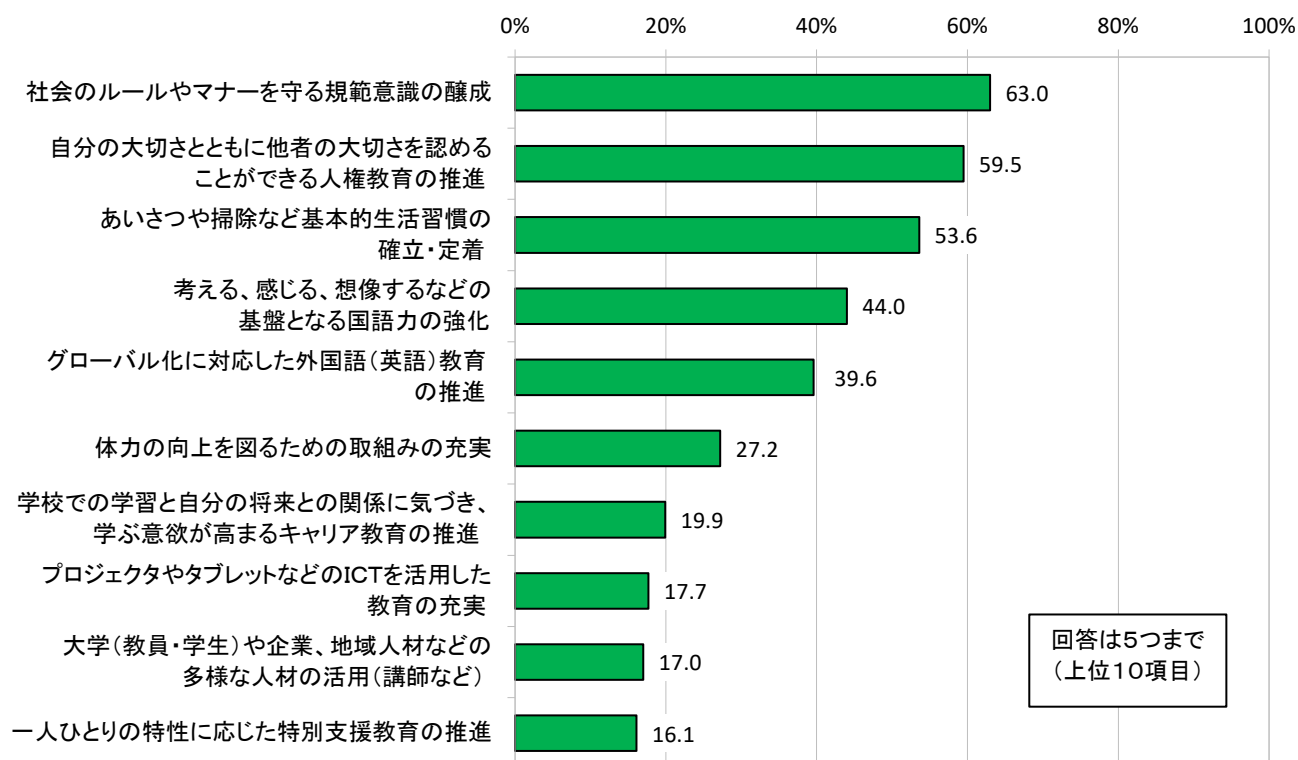
《お住まいの地域(校区)の人たちの活動や意識について(項目別:抜粋)》

■地域の安全パトロールや青少年の健全育成に取り組んでいる

そう思う
 
 どちらかといえばそう思う
 
 どちらかといえばそう思わない
 
 そう思わない
 
 わからない
 
 無回答



《今後、「魅力ある教育」の推進のために優先して取り組むべきこと》



「社会のルールやマナーを守る規範意識の醸成」「自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができる人権教育の推進」「あいさつや掃除など基本的な生活習慣の確立・定着」の上位3項目については、半数以上の方が取り組んでほしいと回答しています。

## 第2回市政アンケート調査

### 〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和5年6月23日～7月7日
■調査数	642件
■回答数	548件
■有効回答率	85.4%

1. 「ふくおかさん家のうまかもん」について  
(担当課：農林水産局 政策企画課)
2. 「消費生活」について  
(担当課：市民局 消費生活センター)
3. 「地域の福祉活動」について  
(担当課：福祉局 地域福祉課)
4. 「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について  
(担当課：環境局 脱炭素社会推進課)
5. 「福岡市の教育」について  
(担当課：教育委員会 教育政策課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている      2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

( 返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。 )

**（提出期限）7月7日（金）までにポストに投函してください。**

## 《 「ふくおかさん家のうまかもん」 について 》

福岡市では、平成27年に「ふくおかさん家（ち）のうまかもん条例」を施行し、「ふくおかさん家のうまかもん」を販売、または材料に使った食品を提供する飲食店や小売店などを認定し、ホームページで紹介するなどの支援を行い、それらの生産や消費拡大に向けた取り組みを進めています。また、自然や農作業体験の場の提供などを通じ、生産に関する市民の理解促進に取り組んでいます。

問1 「ふくおかさん家のうまかもん」とは、市内で生産された農林水産物およびその加工食品（市内で加工されたものなど）のことです。あなたは「ふくおかさん家のうまかもん」を知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=548) 無回答 —

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1 言葉も、内容も知っている      | 6.0  |
| 2 言葉は知っているが、内容は知らない | 14.6 |
| 3 言葉も、内容も知らない       | 79.4 |



問2 あなたは、過去3年間に、農業と身近に接した経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=548) 無回答 0.2

- |                                      |      |
|--------------------------------------|------|
| 1 自宅のベランダや庭などで、野菜・花などを栽培した           | 46.4 |
| 2 いちご狩り、みかん狩りなどの収穫体験をした              | 23.2 |
| 3 農産物の販売会や農林水産まつりなどの農業関係イベントに参加した    | 11.5 |
| 4 仕事として農産物を生産した                      | 0.9  |
| 5 農業の手伝いをした                          | 7.3  |
| 6 市民農園 <sup>※1</sup> を借りて野菜・花などを栽培した | 0.7  |
| 7 その他（具体的に： _____）                   | 1.6  |
| 8 特にない                               | 38.1 |

※1 市民農園とは  
市が設置している農園に加え、JAや農家で開設している農園も含まれます。

問3 あなたは、日頃、農林水産物やその加工食品を購入したり、飲食店を利用したりする際、市内産のものを優先していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 0.2

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1 優先している          | 10.2 |
| 2 どちらかといえば優先している  | 46.7 |
| 3 どちらかといえば優先していない | 14.8 |
| 4 優先していない         | 28.1 |

問4 あなたは、今後、農林水産物やその加工品を購入したり、飲食店を利用したりする際、市内産のものを優先したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=548) 無回答 —

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1 優先したい           | 28.1 |
| 2 どちらかといえば優先したい   | 64.6 |
| 3 どちらかといえば優先したくない | 4.0  |
| 4 優先したくない         | 3.3  |



## 《「消費生活」について》

インターネットの普及や高齢社会の進展に伴い、消費生活<sup>※</sup>に関するトラブルも多様化・複雑化しています。福岡市では、安全で安心できる消費生活の実現を目指し、幼児期から高齢期までのライフステージに応じた消費者教育を受ける機会の充実を図り、消費者の特性に配慮しながら、さまざまな担い手と連携を強化し、消費者教育を推進しています。

※本アンケートでの「消費生活」とは、生活に必要な商品やサービスを事業者から購入し、それらを利用して生活し、使い終わったものを破棄するまでのことをいいます。

問5 消費生活センターでは、消費者トラブルの相談や、トラブル情報の提供などを行っています。あなたは「消費生活センター」を知っていましたか。また、同センターに相談窓口があることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 —

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| 1 名前も相談窓口があることも知っていた         | 77.7 |
| 2 名前は知っていたが、相談窓口があることは知らなかった | 14.6 |
| 3 知らなかった                     | 7.7  |

問6 クーリング・オフ<sup>※2</sup>は、消費者が無条件で一方向的に契約を解除できる制度です。あなたは、店舗や通信販売で購入・利用契約をした場合は、クーリング・オフができないことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 —

- |         |      |          |      |
|---------|------|----------|------|
| 1 知っていた | 54.2 | 2 知らなかった | 45.8 |
|---------|------|----------|------|

※2 クーリング・オフとは

訪問販売などで消費者が冷静な判断をできないまま交わしてしまった契約を、一定の期間内であれば無条件で解除できる制度です。「契約は守らなければならない」とする原則の例外で、クーリング・オフができる取引は法律などで定めがある場合に限ります。

★3,000円未満の現金取引には適用されません。

★店舗購入・通信販売にはクーリング・オフは適用されませんが、事業者が返品の可否や返品期限などに関する特約を設けている場合は、それによって返品などをすることになります。

問7 成年年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が令和4年4月に施行されたことに伴い、「未成年者取消権<sup>※3</sup>」が18歳、19歳には適用されなくなりました。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 —

- |         |      |          |      |
|---------|------|----------|------|
| 1 知っていた | 54.9 | 2 知らなかった | 45.1 |
|---------|------|----------|------|

※3 未成年者取消権とは

未成年者が法定代理人（親権者や未成年後見人）の同意を得ないで契約した場合、契約を取り消すことができる権利です。取り消しができるのは、法定代理人と未成年者本人です。ただし成年者であるとうそをついて結んだ契約など、取り消すことができない場合もあります。



問8 「消費者トラブル」や「消費者被害防止」について、意見・要望がございましたら、ご自由にお書きください。

【 消費者トラブルで困ったときは消費生活センターにご相談ください 】

福岡市消費生活センター

相談専用電話 092-781-0999

受付時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時

第2・4土曜日：午前10時～午後4時（電話相談のみ）

※祝休日・年末年始を除く

※来所相談は予約制です

消費者ホットライン <sup>い や や</sup> 188

お近くの消費生活センターを案内します（年末年始を除く）



消費生活センター啓発キャラクター  
これっキリン先生

## 《「地域の福祉活動」について》

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが社会的に孤立することなく、住み慣れた地域でその人らしく生活し続けることができる地域共生社会の実現が、これからの地域福祉のテーマとなっています。地域の福祉活動では、地域に住む住民一人ひとりが、地域福祉のことを考え、共に取り組むことが重要です。

※この「地域の福祉活動」のアンケートにおいて、「地域」は町内から小学校区程度の範囲をお考え下さい。

問9 あなたは、以下のような地域の福祉活動がお住まいの地域で行われていることを知っていましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=548) 無回答 —

1 民生委員・児童委員 <sup>※4</sup> の見守り活動	68.4
2 ふれあいネットワーク <sup>※5</sup>	16.8
3 ふれあいサロン <sup>※6</sup>	37.2
4 子育て交流サロン <sup>※7</sup>	46.0
5 地域カフェ、認知症カフェ <sup>※8</sup>	20.6
6 地域のあいさつ運動	34.1
7 登下校時の見守り活動、交通安全運動	81.6
8 生活支援ボランティア活動 <sup>※9</sup>	14.8
9 地域の福祉活動に関する出前講座	10.9
10 上記のいずれも知らなかった	6.4

※4 民生委員・児童委員とは、地域において、住民の立場に立った相談対応や、必要な援助、社会福祉の増進に努める活動などを行う方々のことです。

※5 地域住民（ボランティア）や地域団体、関係機関が連携し、支援を必要とする高齢者や障がい者、子育て家庭などを対象に、見守りや声かけなどを行う活動のことです。

※6 家に閉じこもりがちな高齢者や障がい者などを対象に、仲間づくりや交流、介護予防などを目的に、体操や、レクリエーションなどを行う、集いの場を広げる活動のことです。

※7 公民館などの身近な地域の会場を利用して、子育てサポーターが見守り、乳幼児の親子が開設時間内の好きな時間に訪れて、自由に過ごすことができる場所のことです。

※8 一般的な営利目的のカフェと異なり、地域の中の「居場所」「たまり場」とすることや、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に理解し合うことを目的に実施されているものです。

※9 日常のちょっとした困りごと（外出支援やごみ出し支援など）を住民同士の助け合いで解決する活動のことです。

問 10 あなたは、地域に関する情報（問9などの活動や、その他地域で取り組む各種活動などの情報）を得ようと思ったときに、どのような方法で、情報を取得しますか。あてはまるものをすべて選んでください。（N=548）無回答 —

1 福岡市発行の広報紙（市政だよりなど）	76.8
2 福岡市のホームページ	38.7
3 公民館、自治協議会、自治会・町内会、社会福祉協議会発行の広報紙（ふくしのまち福岡など）	44.0
4 公民館、自治協議会、自治会・町内会、社会福祉協議会のホームページ	7.3
5 地域活動に参加する中で	14.1
6 家族・友人・近所の人から聞いて	31.9
7 地域の役員から聞いて	9.1
8 その他（具体的に： )	4.2
9 地域に関する情報を取得することはない	2.4

問 11 あなたは、問9の地域の福祉活動や問10の広報紙などを通じて、福祉活動について学ぶ機会がありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=548）無回答 0.2

1 はい	40.1	2 いいえ	59.7
------	------	-------	------

問 12 あなたは、普段、地域の福祉活動以外に、サークル活動や趣味の活動など、地域の人たちと交流する機会がありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=548）無回答 0.2

1 ある	25.4	2 ない	74.5
------	------	------	------

問 13 あなたのお住まいの地域で、年齢や性別、国籍、障がいの有無などの理由による合理性のない不利益を見たり、聞いたり、感じたりしたことはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=548）無回答 —

1 ある	12.8	2 ない	87.2
------	------	------	------

問 14 『年齢や性別、国籍、障がいの有無などの理由で、合理性のない不利益を受けることがあってはいけない』という意見について、どう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。（N=548）無回答 0.2

1 そう思う	79.2
2 ややそう思う	17.2
3 あまりそう思わない	2.0
4 そう思わない	0.2
5 わからない	1.3

## 《「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について》

福岡市では、近年の地球温暖化やその影響を踏まえ、市民の安心・安全な暮らしを確保し、より良い未来へつなげるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」を目指しています。脱炭素社会の実現には、省エネルギーの取組みや太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入・活用、ライフスタイルを脱炭素型に変えていくことが重要です。

問 15 あなたのご家庭での、脱炭素行動についておたずねします。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

※ 当該製品を保有していない、使用していない、設定ができないなどの場合は「該当しない」とお答えください

(N=548)	いつも取り組んでいる	たまに(一部で)取り組んでいる	取り組んでいない	該当しない	無回答
(1) 家電製品を購入または買い替えるときには、省エネ性能の高いものを選ぶよう心がけている	44.3	46.0	5.7	3.6	0.4
(2) 家電製品を使用しないときはプラグを抜いている	11.1	44.2	38.7	5.7	0.4
(3) 照明は、LED ライトを使用している	50.4	40.7	6.4	2.6	-
(4) 冷蔵庫の扉の開閉回数や時間をできるだけ少なくしている	40.9	39.6	18.2	1.3	-
(5) 家庭の電気について、再生可能エネルギーなど発電時に二酸化炭素排出量が少ない電力プランを選択している	9.5	21.0	53.8	14.6	1.1
(6) 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を利用している	10.8	7.5	44.0	37.0	0.7
(7) 紙の削減や移動による環境負荷を減らすため、行政手続や民間サービスには、オンラインを優先して利用している	18.8	48.0	24.3	8.6	0.4
(8) 宅配ボックス・置き配の利用や駅・コンビニ受け取りにより、宅配の再配達を削減している	33.9	28.5	27.6	9.9	0.2
(9) 商品を選ぶとき、プラスチック製品ではなく紙や植物由来素材の製品を選んだり、簡易包装された商品を選んでいる	10.4	55.1	31.4	2.9	0.2
(10) リサイクルショップやフリーマーケット、フリマアプリなどを利用している	12.4	43.6	35.6	8.4	-

問 16 あなたは今後、問 15 のような脱炭素行動に取り組みたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 0.4

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1 取り組みたい           | 29.2 |
| 2 どちらかといえば取り組みたい   | 64.4 |
| 3 どちらかといえば取り組みたくない | 3.6  |
| 4 取り組みたくない         | 2.4  |

問 17 あなたは今後、どのようなことが行われれば、問 15 のような脱炭素行動に取り組みやすくなると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=548) 無回答 —

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 1 方法や費用に関する情報の充実      | 59.9 |
| 2 メリットや効果についての広報      | 65.3 |
| 3 取り組みをサポートするサービスやアプリ | 45.1 |
| 4 取り組みを共有できる仲間やコミュニティ | 12.2 |
| 5 きっかけとなるイベント         | 27.7 |
| 6 補助金の充実              | 38.9 |
| 7 その他（具体的に： )         | 2.9  |
| 8 わからない               | 3.6  |

問 18 住宅窓の断熱改修について、下図のような改修方法があることや、冷暖房の効きが良くなったりヒートショックを軽減したりする改修効果があることを知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 0.2

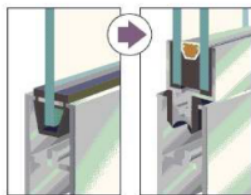
- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1 改修方法、改修効果のどちらも知っている  | 41.8 |
| 2 改修方法のみ知っている          | 4.6  |
| 3 改修効果のみ知っている          | 19.7 |
| 4 改修方法、改修効果のどちらも知らなかった | 33.8 |

住宅窓の断熱改修について

【 改修方法例 】

ガラス交換

既存のガラスを複層ガラス等に交換



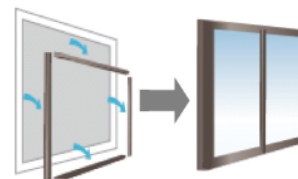
内窓設置

既存サッシの内側に樹脂製の内窓を設置



外窓交換

古いサッシを枠ごと取外し、新しい断熱窓を取り付け



問 19 あなたのご家庭では、現在、次の機器を設置していますか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=548)	設置 している	設置 していない	設置 できない	わからない	無回答
(1) 太陽光発電	7.5	44.0	45.4	2.4	0.7
(2) 家庭用燃料電池※10	2.0	54.0	37.0	6.4	0.5
(3) 蓄電池※11	3.6	55.7	32.5	7.5	0.7
(4) HEMS※12	2.2	46.7	35.4	14.6	1.1
(5) 充電設備※13 (集合住宅の駐車場も含む)	3.1	51.1	33.0	11.7	1.1
(6) ヒートポンプ給湯器※14	11.9	44.3	29.4	14.1	0.4

※10 家庭用燃料電池（エネファーム）

：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器

※11 蓄電池

：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器

※12 HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム

※13 充電設備

：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備

※14 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

問 20 あなたのご家庭では、将来的に、次の機器を設置（買い替えや買い増しも含む）したいと思いませんか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=548)	設置 したい	設置 したくない	決めていない	わからない	無回答
(1) 太陽光発電	21.7	15.1	35.9	25.2	2.0
(2) 家庭用燃料電池※10	15.3	8.2	40.3	33.8	2.4
(3) 蓄電池※11	26.3	6.0	38.0	27.9	1.8
(4) HEMS※12	17.5	7.3	36.5	36.5	2.2
(5) 充電設備※13	19.9	8.0	39.1	30.8	2.2
(6) ヒートポンプ給湯器※14	28.3	6.2	33.8	29.7	2.0

【電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車】

電気自動車は、外部電源から充電し、バッテリーに蓄えた電気のでモーターを動かして走行する自動車で、走行中にCO<sub>2</sub>や排気ガスを出しません。

プラグインハイブリッド自動車は、外部電源から充電でき、ガソリンエンジンとモーターの併用で走行する自動車です。

燃料電池自動車は、燃料電池で水素と酸素を化学反応させて電気を作り、その電気のでモーターを回して走行する自動車です。走行時に排出するのは水だけで、CO<sub>2</sub>や大気汚染物質を排出しません。

問21 あなたの家庭では、自家用車を購入または買い替える際に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思いませんか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=548) 無回答 0.5

- |   |                 |      |
|---|-----------------|------|
| 1 | そう思う            | 22.4 |
| 2 | どちらかといえばそう思う    | 31.2 |
| 3 | どちらかといえばそう思わない  | 13.9 |
| 4 | そう思わない          | 10.2 |
| 5 | 自家用車を購入するつもりはない | 21.7 |

問22 あなたの家庭では、今後、どのようなことが行われれば、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しやすくなると思いませんか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=548) 無回答 0.7

- |    |                                       |      |
|----|---------------------------------------|------|
| 1  | 価格の低減                                 | 77.0 |
| 2  | 補助金の充実                                | 55.8 |
| 3  | 車種の増加                                 | 40.5 |
| 4  | 充電・充填スポットの増設                          | 63.5 |
| 5  | 住宅用充電スポットの標準装備（電気自動車、プラグインハイブリット車に限る） | 34.5 |
| 6  | 充電時間の短縮（電気自動車、プラグインハイブリット車に限る）        | 45.8 |
| 7  | 航続距離（燃料が満タンの状態で走行できる距離）の延長            | 40.7 |
| 8  | 充電・充填費用の軽減                            | 33.2 |
| 9  | その他（具体的に： )                           | 6.6  |
| 10 | わからない                                 | 6.4  |



《 「福岡市の教育」 について 》

福岡市では、令和元年6月に「第2次福岡市教育振興基本計画」を策定し、その推進に努めています。

問 23 現在の小・中・特別支援学校の子どもたちの状況について、あなたが子どもだった頃に比べてどのように感じますか。(1)～(13)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=548)	向上している	向上している どちらかといえば	ほとんど変わっていない	低下している どちらかといえば	低下している	無回答
(1)調べたことや自分の意見、考えをまとめる力	19.2	41.8	24.1	10.0	2.4	2.6
(2)人前で意見や考えを発言したり、表現したりする力	15.7	41.6	26.6	10.9	2.4	2.7
(3)学校で学んだことを普段の生活に活かす力	8.2	31.9	39.2	14.4	3.3	2.9
(4)あいさつや掃除などの基本的な生活習慣	10.8	20.8	35.4	24.5	6.0	2.6
(5)がんばって勉強しようとする「やる気」	6.9	29.9	41.8	14.4	4.2	2.7
(6)物事を計画的に行う力	6.9	27.6	45.4	14.4	2.9	2.7
(7)粘り強く物事をやり遂げる力	6.2	15.7	39.1	30.7	5.3	3.1
(8)社会のルールを守り、マナーを大切にする気持ち	11.1	24.3	31.4	22.1	8.4	2.7
(9)他者とのコミュニケーションを円滑に行う力	8.6	22.4	29.9	27.6	8.8	2.7
(10)将来の夢に向かって自分を伸ばそうとする力	9.1	31.0	40.0	13.5	3.5	2.9
(11)体力や健康を管理・増進する力	6.9	19.5	31.4	31.4	8.2	2.6
(12)社会や他者の役に立ちたいと思う気持ち	6.8	22.6	44.7	17.9	5.5	2.6
(13)自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができること	8.6	25.4	36.9	21.4	5.3	2.6



問 24 あなたがお住まいの地域（校区）の人たちの教育に関する活動や意識について、あなたはどのように感じていますか。（1）～（10）のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=548)	そう 思 う	な じ り し て い る	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
(1)子どもたちの登下校時や道で会ったときに声かけをしている	12.4	36.3	20.8	17.2	12.2	1.1	
(2)近所の子どもが悪いことや危ないことをしたら注意している	12.2	34.7	20.8	16.6	15.1	0.5	
(3)近所の子どもたちの名前やその親を知っている	4.6	17.9	18.8	30.3	27.6	0.9	
(4)子育てについて現在子育て中の親の相談にのったり、 アドバイスをしている	2.7	17.0	18.6	29.4	31.2	1.1	
(5)地域の子どもは地域全体で育てるという取組みが見受け られる	4.6	27.0	21.2	24.3	22.1	0.9	
(6)地域の安全パトロールや青少年の健全育成に取り組んでいる	11.7	38.9	13.7	17.2	17.9	0.7	
(7)地域の伝統的な行事や文化を次の世代に受け継いでいる	7.8	31.9	18.1	19.2	22.3	0.7	
(8)学校の行事やPTA活動に積極的に参加している	5.7	24.8	16.4	21.0	31.4	0.7	
(9)地域と学校をつなぐパイプ役となって活動している	3.1	18.1	18.4	25.2	34.3	0.9	
(10)地域に対する愛着や誇りを育てるような取組みが見受け られる	4.4	25.7	20.1	19.2	29.7	0.9	

問 25 お住まいの校区にある小・中・特別支援学校の状況や活動について、あなたはどのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=548)	そう思う	そう思う けど もう少し 必要	そう思う けど もう少し 必要 はない	そう 思わない	わからない	無回答
(1)基礎基本となる学力の向上に取り組んでいる	7.8	37.6	6.9	3.8	43.1	0.7
(2)職場体験やボランティアなどの体験活動を重視している	4.2	29.4	14.8	4.6	46.4	0.7
(3)健康な体づくりや基本的な生活習慣の形成に取り組んでいる	4.0	34.1	14.8	4.0	42.3	0.7
(4)環境や国際理解、福祉などの特色ある教育に取り組んでいる	4.4	25.7	16.2	5.1	47.8	0.7
(5)学校行事やクラブ活動・部活動などが活発に行われている	10.2	37.2	10.9	3.6	37.2	0.7
(6)地域の人材や施設などを活かした教育を行っている	4.2	24.3	18.2	5.1	47.3	0.9
(7)学校ホームページなどで学校情報を積極的に公開している	4.7	23.4	15.5	5.7	49.8	0.9
(8)PTA活動が積極的になされている	4.4	21.5	18.1	4.6	50.7	0.7
(9)学校の施設や設備が地域に開放されている	9.1	28.1	13.9	8.0	40.1	0.7
(10)学校の教育活動について全体的に満足している	5.3	30.8	9.5	6.2	47.4	0.7

問 26 今後、福岡市として「魅力ある教育」を推進していくうえで、優先して取り組むべきと思うものについて、あてはまるものを5つまで選んでください。(N=548) 無回答 2.0

1	社会のルールやマナーを守る規範意識の醸成	63.0
2	自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができる人権教育の推進	59.5
3	あいさつや掃除など基本的な生活習慣の確立・定着	53.6
4	考える、感じる、想像するなどの基盤となる国語力の強化	44.0
5	グローバル化に対応した外国語（英語）教育の推進	39.6
6	学校での学習と自分の将来との関係に気づき、学ぶ意欲が高まるキャリア教育の推進	19.9
7	プロジェクトやタブレットなどのICTを活用した教育の充実	17.7
8	学校図書館（図書室）を活用した読書活動や教育活動の充実	11.3
9	科学的思考力を育むための理数教育の充実	14.8
10	体力の向上を図るための取組みの充実	27.2
11	少人数学級やチームティーチング※15、習熟度別少人数指導などのきめ細かな指導体制の充実	15.3
12	小学校における一部教科担任制の推進	9.1
13	土曜日の有効活用（授業や学校行事などを土曜日に実施）	7.5
14	大学（教員・学生）や企業、地域人材などの多様な人材の活用（講師など）	17.0
15	基礎学力向上のための補充学習の機会の提供	12.4
16	学校規模の適正化（学校の統廃合や分離・新設）	3.3
17	一人ひとりの特性に応じた特別支援教育の推進	16.1
18	地域が学校運営に参加できる仕組みづくり	4.6
19	その他（具体的に： )	2.2

※15 学級を複数の教員で指導する体制のことです。

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。  
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて  
ご返送をお願いします。

【標本構成（第2回）】(N=548)

◆性別

男性	42.3
女性	57.7

◆年齢

18～29 歳	14.6
30 代	15.5
40 代	18.1
50 代	18.2
60 代	12.8
70 歳以上	20.8

◆職業

正社員・正職員	37.2
契約社員・派遣社員・嘱託	6.6
パート・アルバイト	15.7
会社等役員	2.6
自営業・家族従事者	4.7
専業主婦・専業主夫	15.1
学生	3.6
無職	13.1
その他	1.3

◆行政区

東区	23.9
博多区	12.0
中央区	12.4
南区	17.7
城南区	8.9
早良区	11.3
西区	13.7

◆居住年数

3年未満	8.0
3年以上5年未満	6.8
5年以上10年未満	12.6
10年以上20年未満	19.2
20年以上30年未満	18.1
30年以上	35.4

◆居住形態

持家の戸建て	32.1
持家の集合住宅	25.7
賃貸の戸建て	2.2
賃貸の集合住宅	37.8
社宅・寮	1.6
その他	0.5

◆18歳未満の同居家族

いる	30.1
いない	64.8
無回答	5.1

◆65歳以上の同居家族

いる	39.2
いない	59.9
無回答	0.9

◆回答方法

郵送	39.4
インターネット	60.6

# 令和5年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 : 令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第3回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和5年7月25日から8月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 640人
- (3) 回答者数
- 543人
- (4) 有効回答率
- 84.8%
- (5) 調査テーマ
- ①「福岡市の広報活動」について
  - ②「情報通信の利用状況」について
  - ③「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について
  - ④「再犯の防止」について

## 3. 注意点

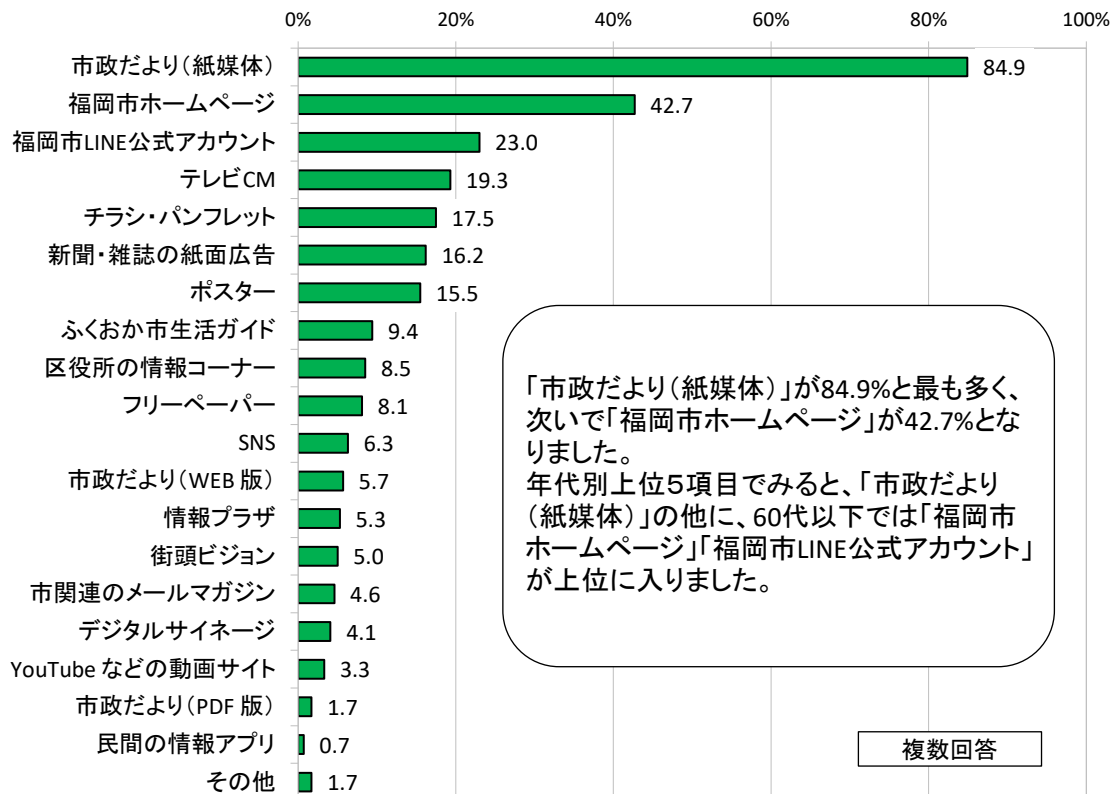
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

# ①「福岡市の広報活動」について(N=543)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの

例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

## ≪ 市政情報を得るために利用したことがある広報媒体 ≫

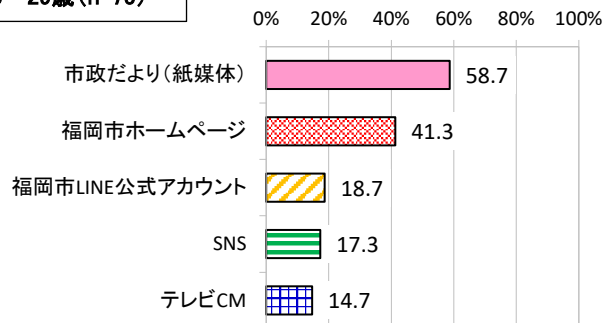


「市政だより(紙媒体)」が84.9%と最も多く、次いで「福岡市ホームページ」が42.7%となりました。年代別上位5項目でみると、「市政だより(紙媒体)」の他に、60代以下では「福岡市ホームページ」「福岡市LINE公式アカウント」が上位に入りました。

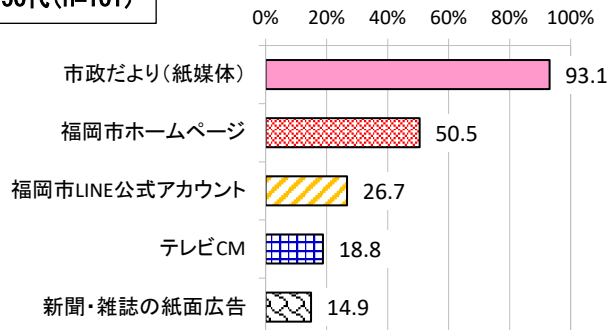
複数回答

## ◆年代別上位5項目

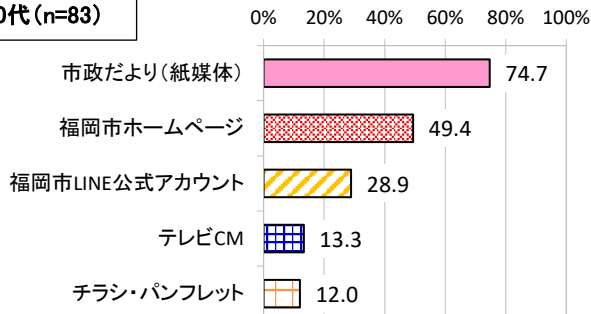
18~29歳 (n=75)



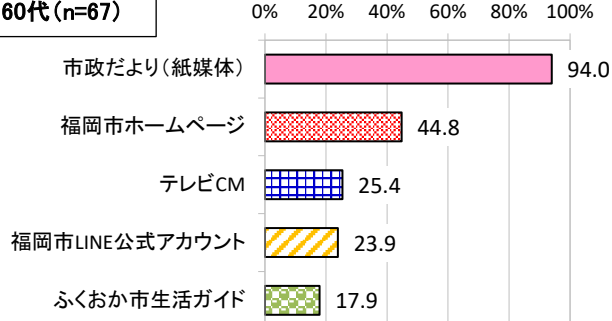
50代 (n=101)



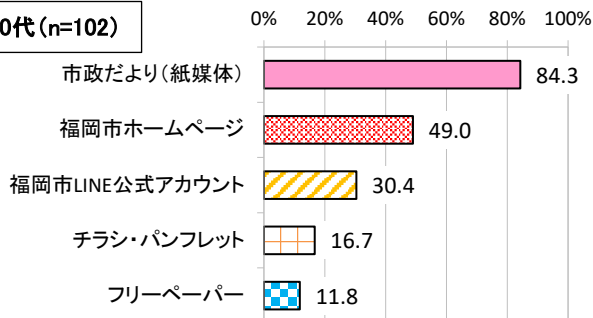
30代 (n=83)



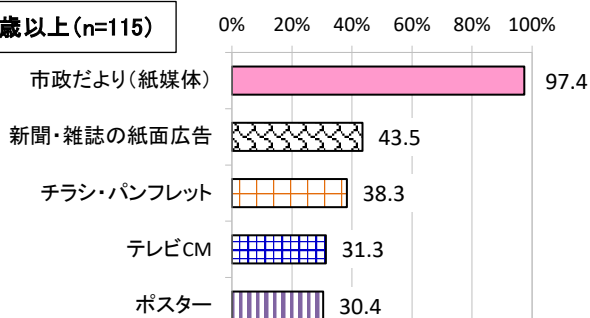
60代 (n=67)



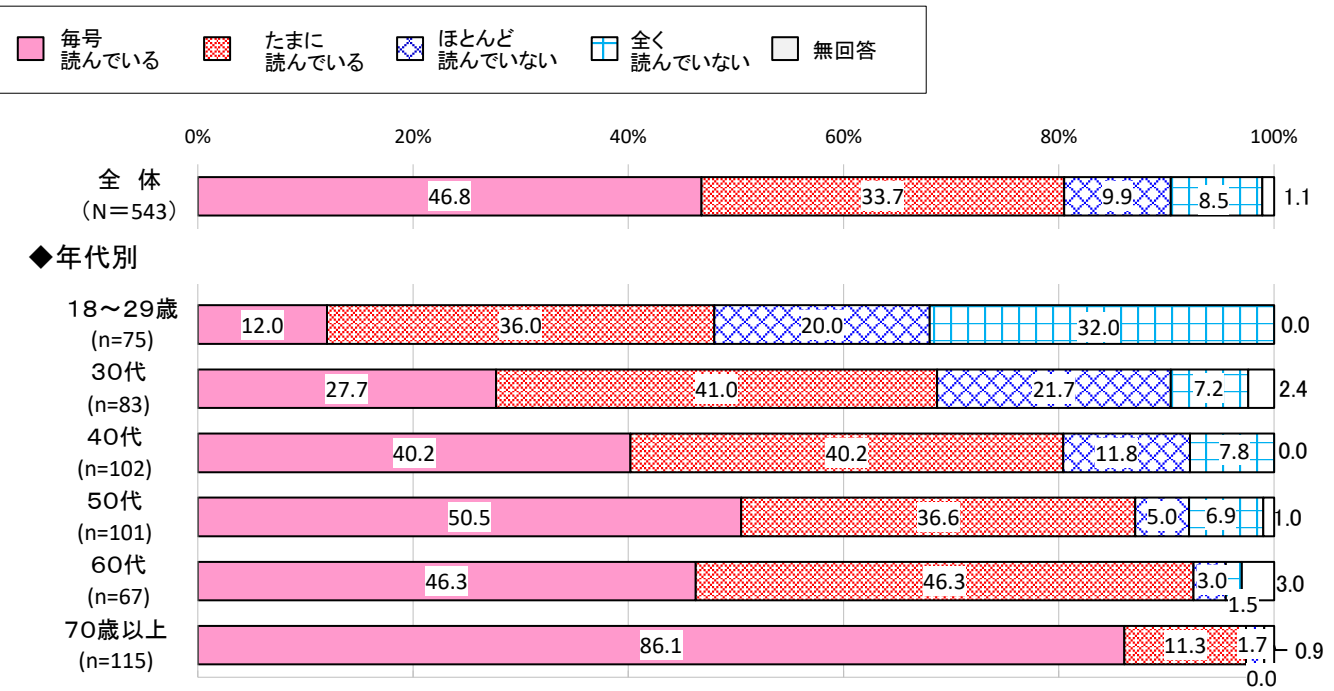
40代 (n=102)



70歳以上 (n=115)

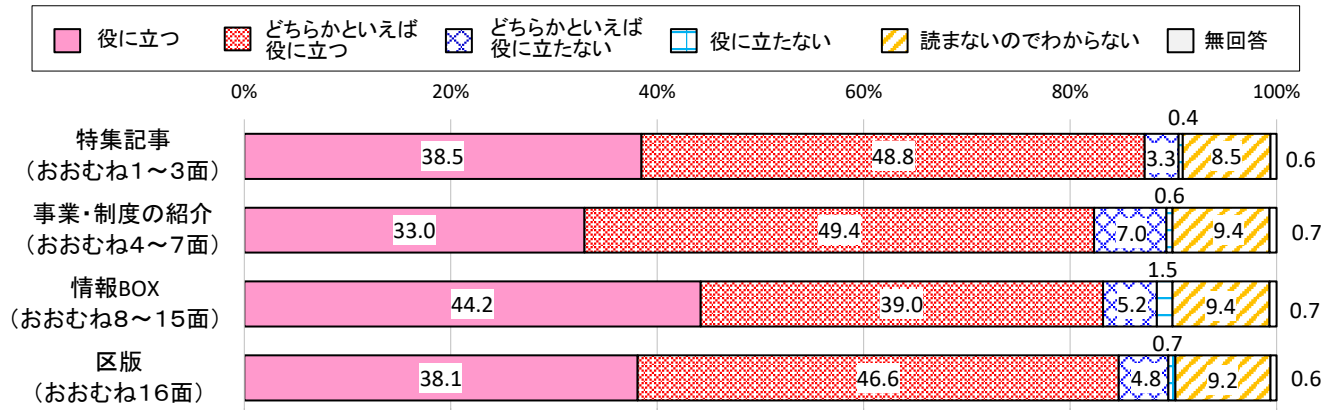


### 《 市政だより(紙媒体)を読む頻度 》



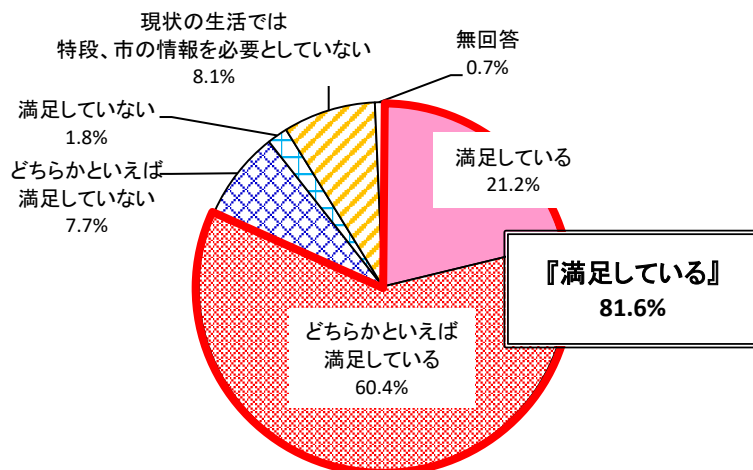
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の46.8%となりました。年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

### 《 市政だよりの各記事は役に立つか 》



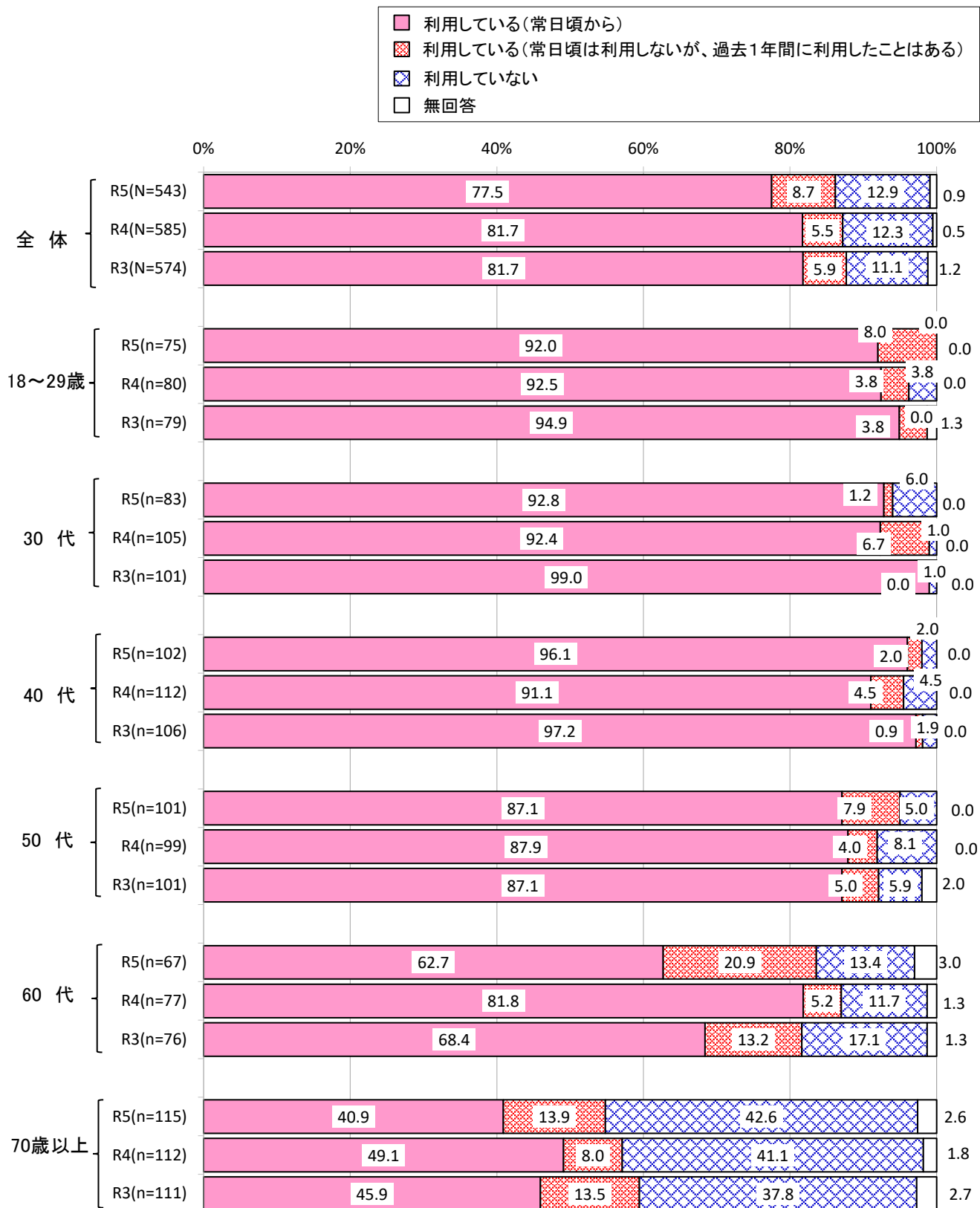
『役に立つ』と回答した方は「特集記事」で87.3%と最も多く、次いで、「区版」で84.7%という結果になりました。

### 《 福岡市の情報発信に対する総合的な満足度 》



## ②「情報通信の利用状況」について(N=543)

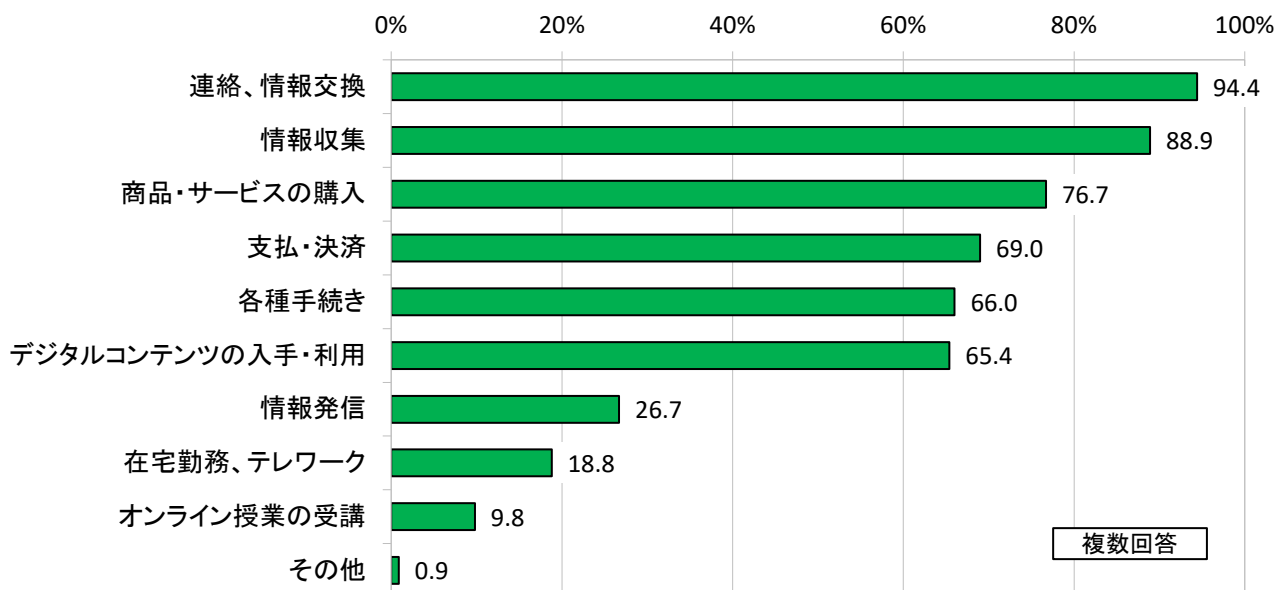
《インターネットの利用状況》年代別(過去3年間の調査と比較)



過去3年間の調査から、全体で85.0%以上の方が、インターネットを『利用している』ことがわかります。



《インターネットの利用目的》 ※『利用している』方が回答(n=468)



◆年代別(一部抜粋)

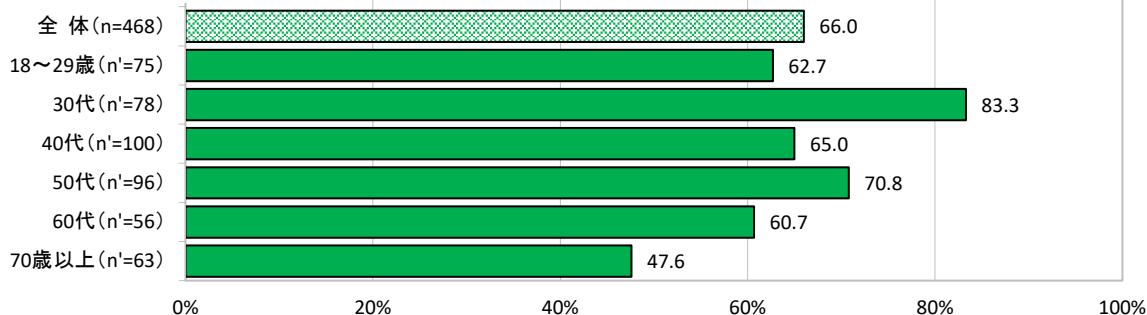
■情報収集



■商品・サービスの購入

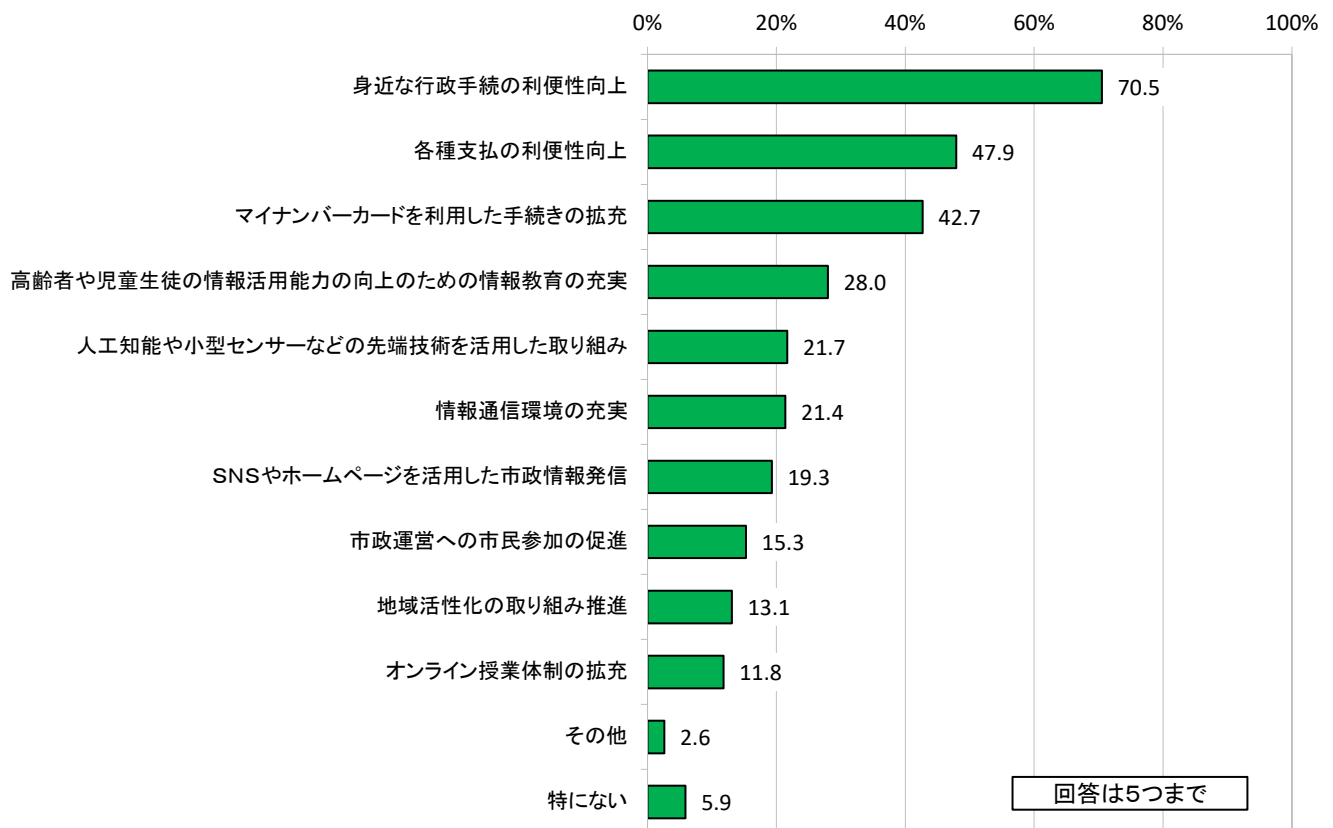


■各種手続き



年代別にみると、「情報収集」はいずれの年代においても8割を超える結果となりました。「商品・サービスの購入」では50代が83.3%、「各種手続き」では30代が83.3%と最も高い割合となりました。

## 《今後期待する福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組み》

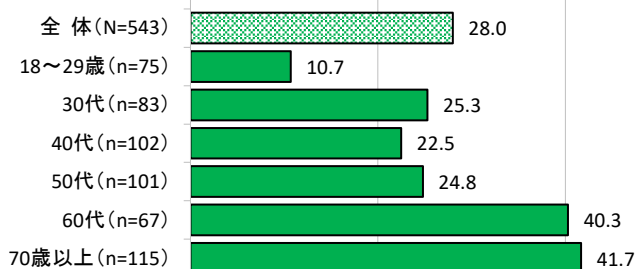


### ◆年代別（一部抜粋）

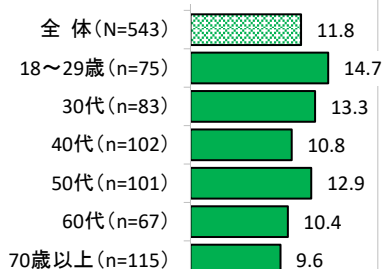
#### ■身近な行政手続の利便性向上



#### ■高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実



#### ■オンライン授業体制の拡充

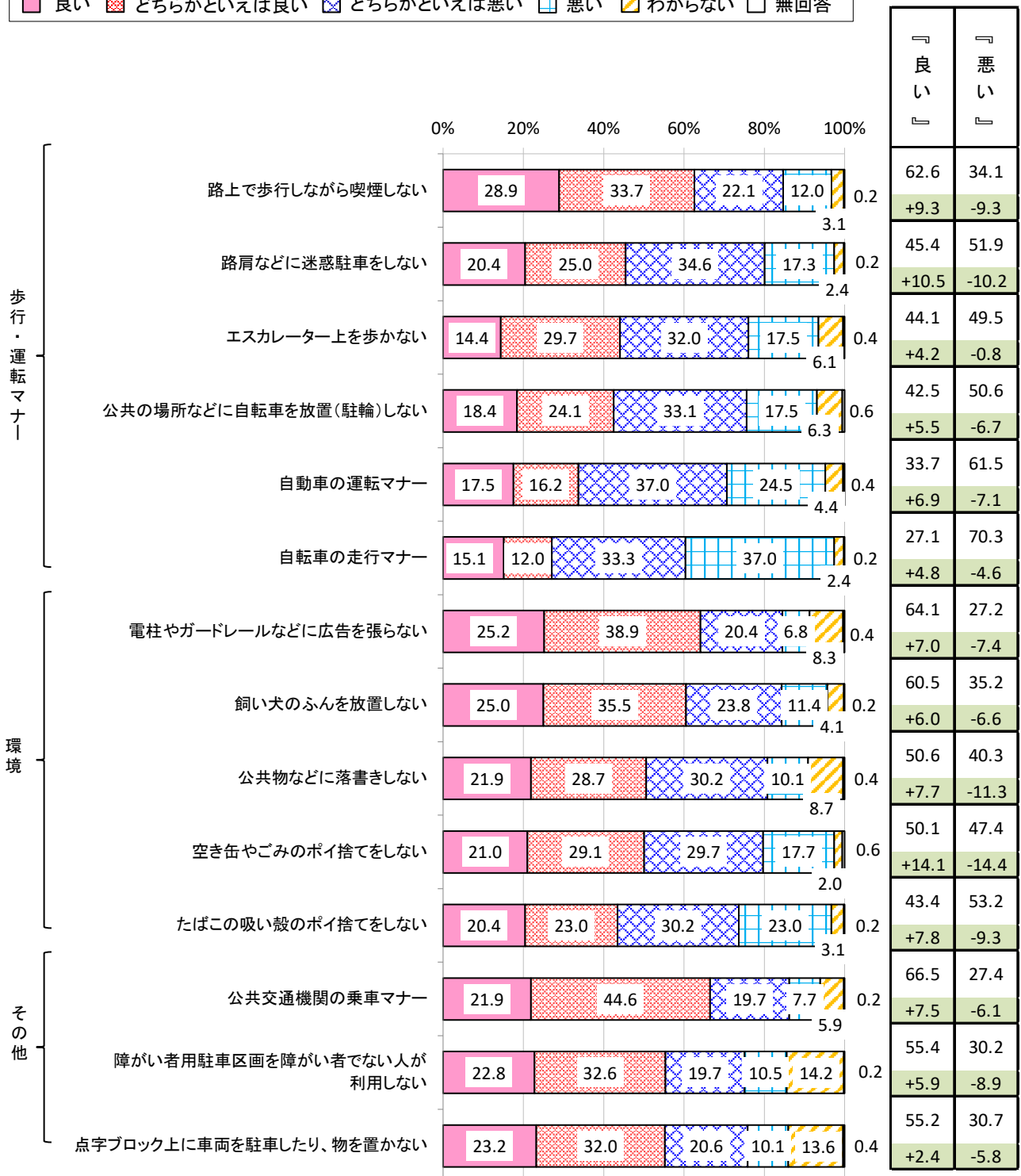
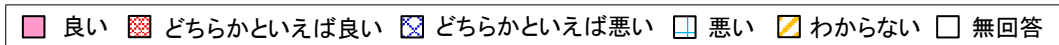


年代別にみると、「身近な行政手続の利便性向上」は、いずれの年代においても5割を超える結果となりました。「高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実」は、70歳以上の割合が最も高くなっています。「オンライン授業体制の拡充」は、18歳～29歳が14.7%で、最も高い割合となりました。

### ③「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について(N=543)

#### 《福岡市のモラル・マナーの現状》

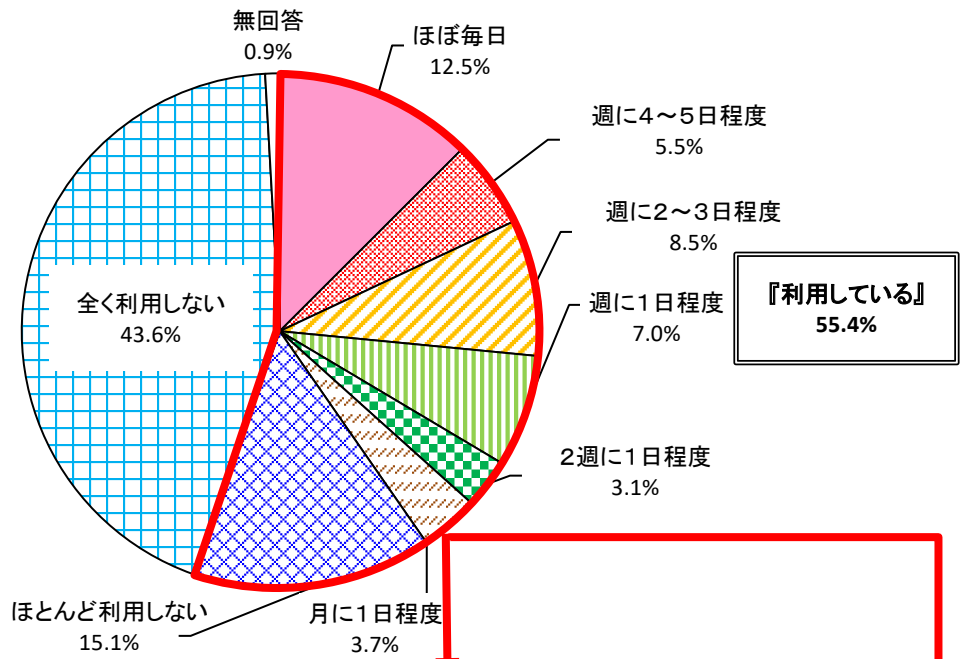
下段：令和3年度とのポイント差



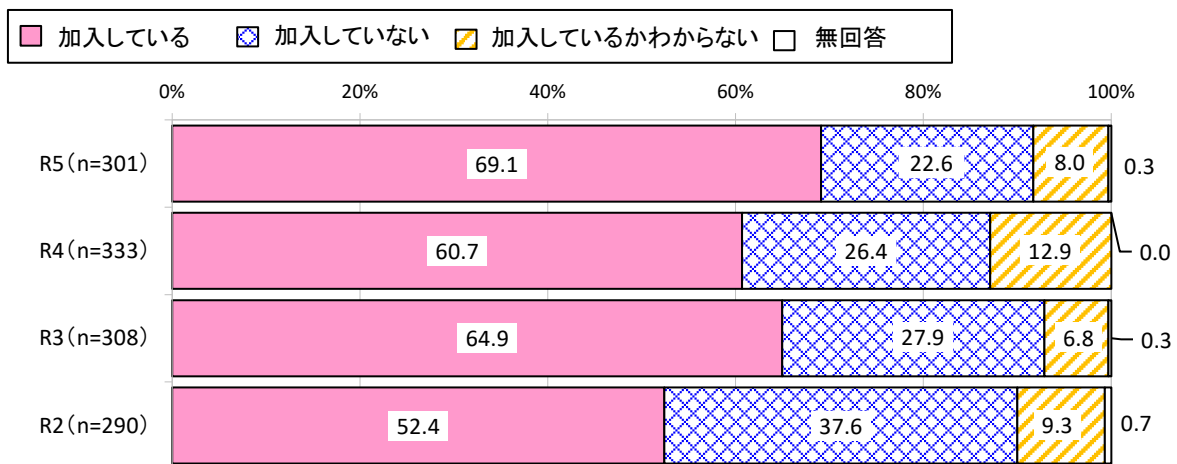
『良い』と回答した方は「公共交通機関の乗車マナー」で66.5%と最も多く、『悪い』と回答した方は「自転車の走行マナー」で70.3%と最も多くなりました。

『良い』の数値を令和3年度と比較すると、「空き缶やごみのポイ捨てをしない」が最も大きく改善しており(+14.1ポイント)、次いで「路肩などに迷惑駐車をしない」(+10.5ポイント)、「路上で歩行しながら喫煙しない」(+9.3ポイント)となっています。

### 《自転車の利用頻度》

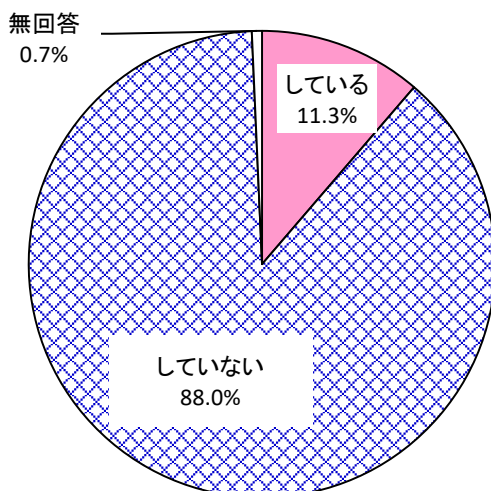


### 《自転車損害賠償保険等の加入状況》(過去調査との比較)



自転車を『利用している』方のうち、69.1%が加入しています。

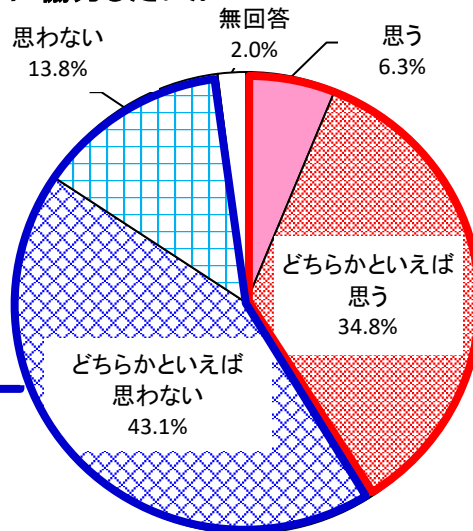
### 《ヘルメット着用状況》 (n=301)



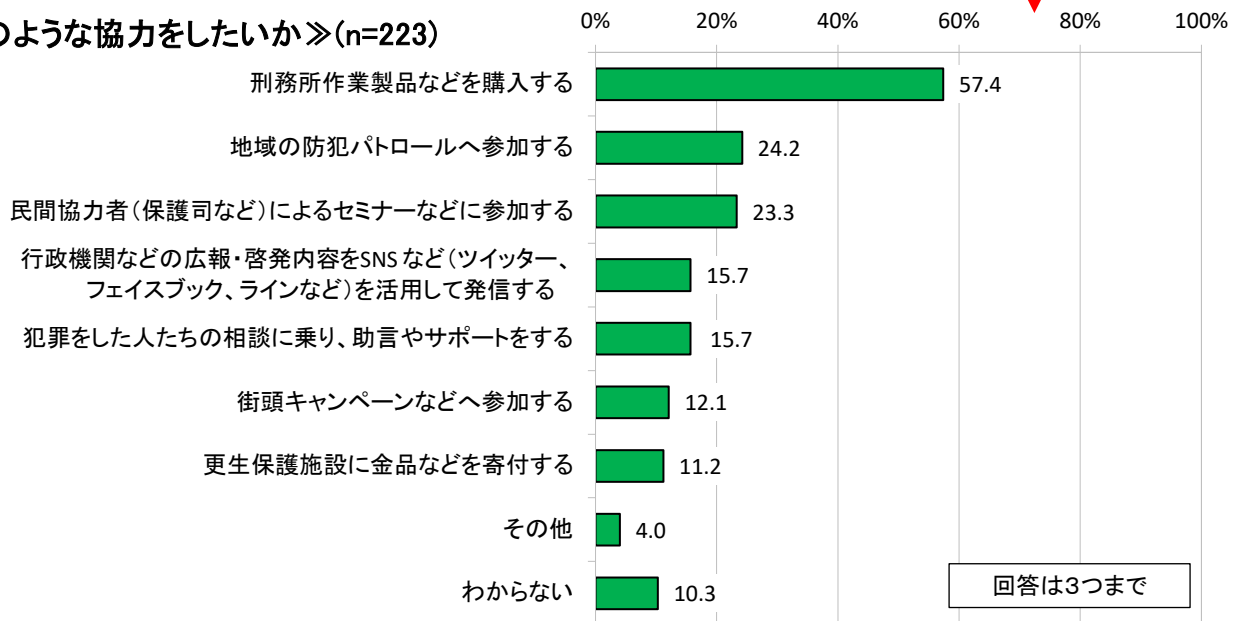
※道路交通法の改正により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。

#### ④「再犯の防止」について(N=543)

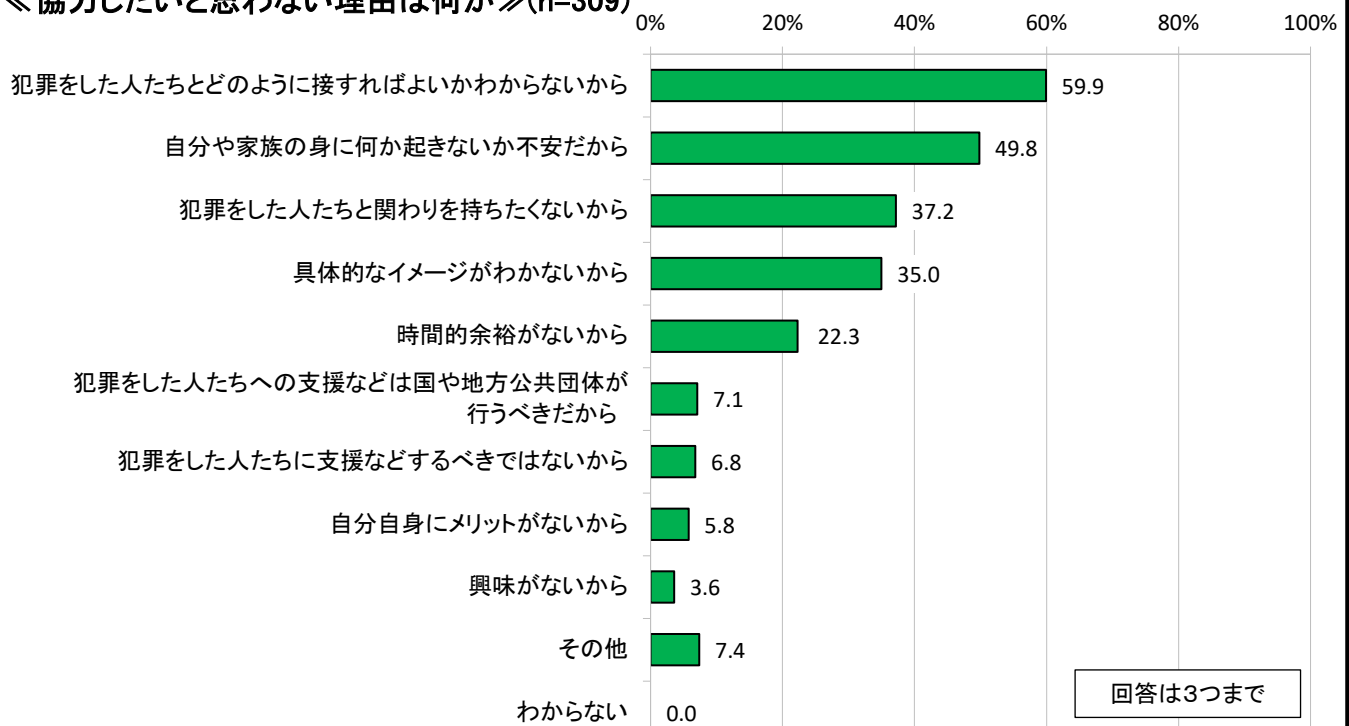
##### 《犯罪をした人たちの立ち直りに協力したいか》



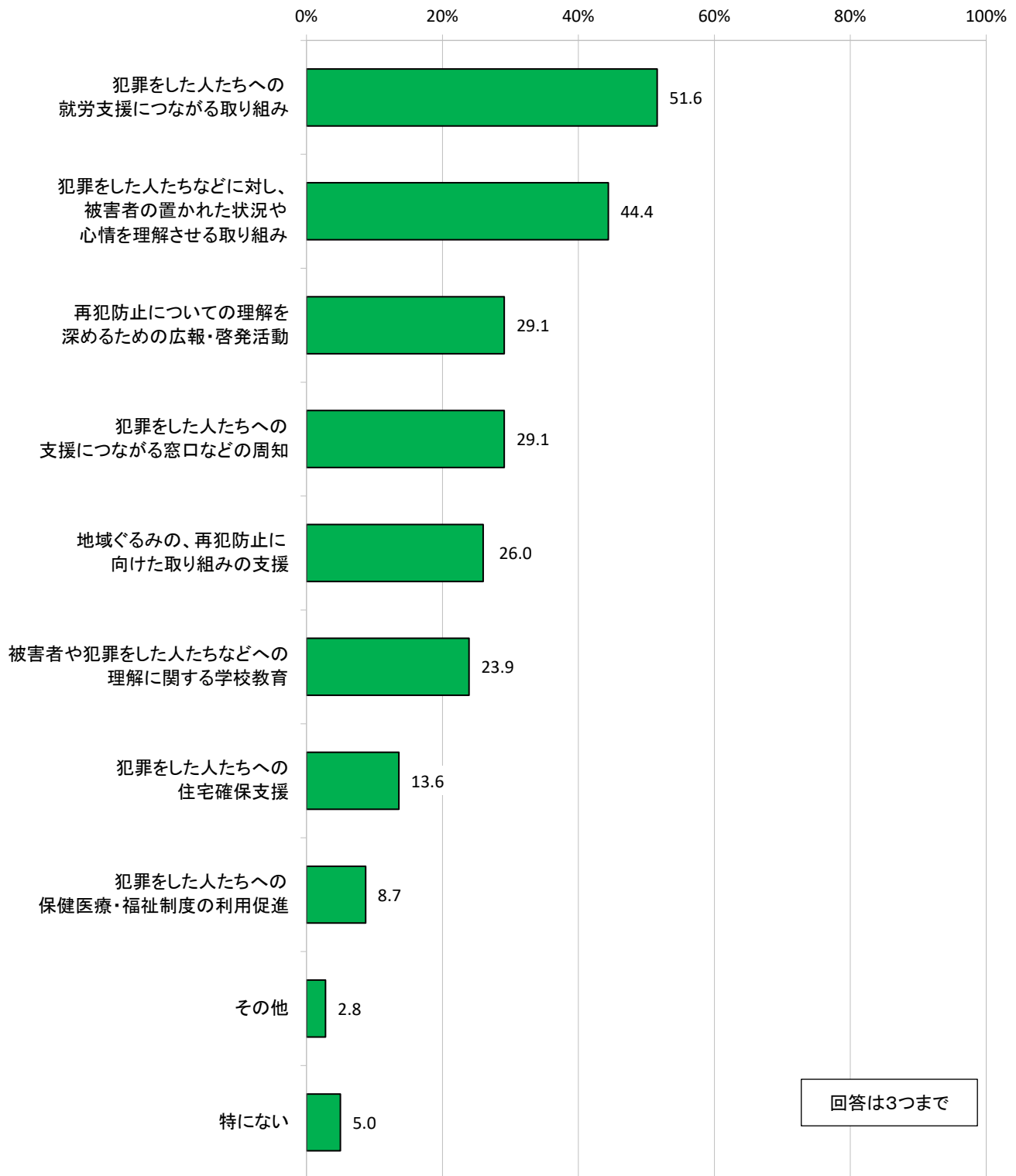
##### 《どのような協力をしたいか》(n=223)



##### 《協力したいと思わない理由は何か》(n=309)



《今後福岡市は、再犯防止のためにどのようなことに力をいれていくべきか》



「犯罪をした人たちへの就労支援につながる取り組み」と回答した方が51.6%と最も多く、次いで「犯罪をした人たちなどに対し、被害者の置かれた状況や心情を理解させる取り組み」が44.4%となりました。

## 第3回市政アンケート調査

### 〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和5年7月25日～8月8日
■調査数	640件
■回答数	543件
■有効回答率	84.8%

1. 「福岡市の広報活動」について

(担当課：市長室 広報課)

2. 「情報通信の利用状況」について

(担当課：総務企画局 サービスデザイン課)

3. 「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について

(担当課：市民局 防犯・交通安全課)

4. 「再犯の防止」について

(担当課：市民局 防犯・交通安全課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている      2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

( 返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

**(提出期限) 8月8日(火)までにポストに投函してください。**

## 《「福岡市の広報活動」について》

福岡市では、市民の皆さまに市政情報をお知らせするために、広報紙「福岡市政だより」の発行（毎月1日と15日の月2回、総ページ数16ページで発行、全世帯に配布）をはじめ、さまざまな広報活動を行っております。

問 1 あなたは、市政情報を得るために下記の媒体を利用したことがありますか。利用したことがあるものをすべて選んでください。（N=543）無回答 1.1

1 市政だより（紙媒体）	84.9
2 市政だより（PDF版）	1.7
3 市政だより（WEB版）	5.7
4 福岡市ホームページ	42.7
5 チラシ・パンフレット	17.5
6 ポスター	15.5
7 ふくおか市生活ガイド（冊子）	9.4
8 区役所の情報コーナー	8.5
9 情報プラザ（市役所1階）	5.3
10 テレビCM（スポットCM）	19.3
11 YouTubeなどの動画サイト（「福岡チャンネル」など）	3.3
12 福岡市LINE（ライン）公式アカウント	23.0
13 SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど）	6.3
14 市関連のメールマガジン（福岡市メールマガジン、福岡市防災メールなど）	4.6
15 デジタルサイネージ（市役所、区役所、地下鉄駅構内などにある電子看板）	4.1
16 街頭ビジョン（商業施設などの大型モニター）	5.0
17 新聞・雑誌の紙面広告	16.2
18 フリーペーパー	8.1
19 民間の情報アプリ（マチイロ、マイ広報紙、Shufoo! など）	0.7
20 その他（具体的に： _____）	1.7

### 【 市政だよりの閲覧方法 】

#### ○紙媒体

市内全世帯と希望事業所に個別に配布

#### ○PDF版

紙媒体と同じものを福岡市ホームページ上で公開

#### ○WEB版

スマートフォンなどでも見やすいように、紙媒体に掲載している記事ごとにページを作成し、福岡市ホームページ上で公開



PDF版の画面



WEB版の画面



問2 あなたは、ご家庭に配られる「市政だより」（紙媒体）を読んでいますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=543）無回答 1.1

1 毎号読んでいる	}	→	問4へ	46.8
2 たまに読んでいる				33.7
3 ほとんど読んでいない	}	→	問3へ	9.9
4 全く読んでいない				8.5

問3 ≪ 問2で「3」「4」と回答した方におたずねします。 ≫

「市政だより」を読んでいない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=100) 無回答 1.0

1 忙しくて読む暇がないから	39.0
2 市政に興味・関心がないから	24.0
3 役立つ情報が掲載されていないから	13.0
4 面白い記事が掲載されていないから	16.0
5 読みにくい、わかりにくいから	12.0
6 必要な情報は新聞、テレビで得ることができるから	10.0
7 必要な情報はインターネットで得ることができるから	41.0
8 その他（具体的に： )	7.0

≪ すべての方におたずねします。 ≫

問4 「市政だより」の1号あたりのページ数（現在、毎号16ページで発行）についてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=543）無回答 0.7

1 今のままでよい	82.3
2 増やしたほうがよい	2.4
3 減らしたほうがよい	11.2
4 その他（具体的に： )	3.3

問5 「市政だより」の発行頻度（現在、毎月1日と15日の月2回発行）についてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=543）無回答 0.7

1 今のままでよい	66.7
2 月3回以上の発行がよい	0.6
3 月1回の発行がよい	29.5
4 その他（具体的に： )	2.6

問6 「市政だより」では、以下の記事を掲載しています。それぞれの記事は役に立つと思いますか。

(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

項 目 (N=543)	内 容	役に立つ	役に立つ どちらかといえば	役に立たない どちらかといえば	役に立たない	わからないので	無回答
(1)特集記事 (おおむね1～3面)	市の重要施策や発行時期に沿ったテーマ・市民のニーズが高いものなど	38.5	48.8	3.3	0.4	8.5	0.6
(2)事業・制度の紹介 (おおむね4～7面)	各種事業・制度の紹介、市民からの投稿コーナーなど	33.0	49.4	7.0	0.6	9.4	0.7
(3)情報BOX (おおむね8～15面)	市が主催・共催・後援する「催し・イベント・講座・講演会」などの案内、お知らせ・仕事・相談・施設の情報など	44.2	39.0	5.2	1.5	9.4	0.7
(4)区版 (おおむね16面)	地域の活動や催し、保健だよりなどの地域情報	38.1	46.6	4.8	0.7	9.2	0.6

問7 「市政だより」に取り上げてほしいテーマや分野について、特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N=543) 無回答 1.7

1 市の財政、総合計画	27.8	13 人権	1.3
2 施設の情報	44.4	14 国際	2.8
3 イベント情報	59.5	15 文化芸術	14.7
4 子育て	19.3	16 スポーツ	11.4
5 教育・学校	16.8	17 農林水産	3.7
6 健康・医療	41.6	18 仕事	11.6
7 高齢者福祉	29.3	19 環境(ごみや省エネなど)	20.3
8 障がい者福祉	5.9	20 まちづくり(道路や公園、港など)	23.6
9 防災	26.0	21 住宅・住まい	8.7
10 防犯	16.9	22 その他(具体的に: )	1.8
11 消費生活	10.7	23 特にない	1.7
12 地域活動・ボランティア	11.8		

問8 福岡市のホームページについて、総合的な満足度（見やすさ、欲しい情報が入手できるかなど）はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=543）無回答 0.6

1 満足している	16.0
2 どちらかといえば満足している	49.2
3 どちらかといえば満足していない	7.9
4 満足していない	1.8
5 市のホームページを利用していない	24.5

問9 福岡市では、問1のような媒体（市政だより、福岡市のホームページやSNSなど）で情報発信を行っています。福岡市の情報発信に対する総合的な満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=543）無回答 0.7

1 満足している	21.2
2 どちらかといえば満足している	60.4
3 どちらかといえば満足していない	7.7
4 満足していない	1.8
5 現状の生活では特段、市の情報を必要としていない	8.1

問10 市政だより・福岡市ホームページなど、市の広報活動への意見・要望などがあれば、ご自由にお書きください。

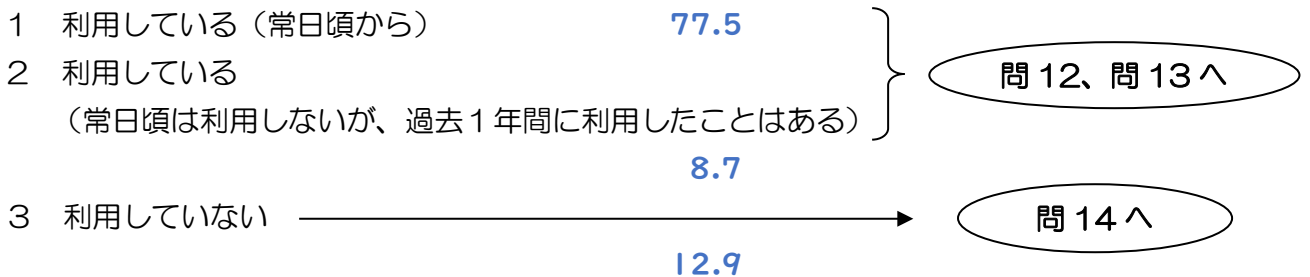
## ≪ 「情報通信の利用状況」について ≫

福岡市では、市民サービスの向上と行政の手続の簡素化・効率化を図るため、情報通信技術（ICT）を活用した行政情報化および地域情報化の各種取り組みを進めています。

問 11 あなたは、インターネットを利用していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=543) 無回答 0.9

※パソコンやスマートフォンなどを使って、インターネットを利用することで、メールなどを利用した連絡、ホームページを利用した情報入手、各種行政手続きのオンライン申請などが可能となります。



問 12 ≪ 問 11 で「1」「2」と回答した方におたずねします。 ≫

あなたは、インターネットをどのような目的で利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (n=468) 無回答 0.2

1 連絡、情報交換（メール、LINE、SNS など）	94.4
2 情報収集（上記「1」を除く）（ホームページ、天気予報、地図などの閲覧）	88.9
3 情報発信（上記「1」を除く）（SNS、ブログなど）	26.7
4 デジタルコンテンツの入手・利用（動画、音楽、ゲームなど）	65.4
5 商品・サービスの購入（上記「4」を除く）（ネットショッピング、フリマサイトなど）	76.7
6 各種手続き（電子申請、再配達依頼、懸賞・アンケート回答など）	66.0
7 支払・決済（キャッシュレス決済など）	69.0
8 在宅勤務、テレワーク	18.8
9 オンライン授業の受講	9.8
10 その他（具体的に： )	0.9

問 13 << 問 11 で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

あなたは、インターネットを利用するときに、以下の機器を使っていますか。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(n=468)	使っている	使っていない	無回答
例) ○○○	①	2	
例) ○○○	1	②	
(1) 携帯電話 ※下記(2)を除く	20.5	70.5	9.0
(2) スマートフォン	96.4	2.6	1.1
(3) タブレット端末	40.2	54.7	5.1
(4) パソコン	69.0	27.1	3.8

<< すべての方におたずねします。>>

問 14 インターネットのできる福岡市の手続きについておたずねします。あなたは、下記の例のような手続きがインターネットで利用できることを知っていますか。また、いずれか1つでも利用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=543) 無回答 3.7

**【 インターネットのできる手続きの例 】**

- 新型コロナウイルスワクチン接種の申し込み
- 住民票の写しの交付申請
- 高齢者乗車券・福祉乗車券の申請
- 税務証明書の交付申請・窓口交付予約（納税証明書など）
- 子ども医療証の申請
- 水道の使用開始と使用中止の申し込み
- 文化・スポーツ・公共施設などの利用予約
- 各図書館の蔵書検索・貸出予約と図書のリクエスト申し込み
- 粗大ごみ収集の申し込み（自己搬入ごみの事前受付を含む）
- インターネット口座振替受付（市税・国民健康保険等）
- 引越し手続きのオンライン予約サービス
- 就学援助の申請

など

- 1 利用したことがある → 問 16 へ 63.4
- 2 知っているが、利用したことはない → 問 15 へ 24.5
- 3 知らない → 問 16 へ 8.5

問 15 ≪ 問 14 で「2 知っているが、利用したことはない」と回答した方におたずねします。≫  
その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。 (n = 133) 無回答 1.5

- |    |                                   |      |
|----|-----------------------------------|------|
| 1  | 利用する必要がなかった                       | 45.1 |
| 2  | 利用したい手続きが電子申請に対応していない             | 4.5  |
| 3  | 手続きのサイト・ページが見つげにくい                | 9.0  |
| 4  | パソコンなどの電子機器の操作や入力が難しそう            | 21.8 |
| 5  | パソコン専用ページしかなく、携帯電話やスマートフォンで利用しづらい | 4.5  |
| 6  | 紙申請の方が簡単                          | 35.3 |
| 7  | きちんと申請ができていないのかわからない              | 27.8 |
| 8  | 対面の方が丁寧に説明を受けられる                  | 31.6 |
| 9  | 個人情報の取り扱いが不安                      | 15.0 |
| 10 | その他（具体的に： _____ )                 | 9.0  |
| 11 | 特になし                              | 1.5  |

≪ すべての方におたずねします。 ≫

問 16 あなたは、今後、福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組みについてどのようなことを期待しますか。特にあてはまるものを5つまで選んでください。 (N = 543) 無回答 2.0

- |    |   |      |
|----|---|------|
| 1  | 身近な行政手続きの利便性向上                                    | 70.5 |
| 2  | マイナンバーカードを利用した手続きの拡充                              | 42.7 |
| 3  | 各種支払（税金、水道料金、保険料、保育料など）の利便性向上                     | 47.9 |
| 4  | 高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実                     | 28.0 |
| 5  | オンライン授業体制の拡充                                      | 11.8 |
| 6  | SNSやホームページを活用した市政情報発信                             | 19.3 |
| 7  | 市政運営への市民参加の促進（市民意見の募集など）                          | 15.3 |
| 8  | 地域活性化の取り組み推進（地域情報発信の支援や地域経済の振興など）                 | 13.1 |
| 9  | 情報通信環境の充実（高速通信のインフラ整備や公衆無線LANの整備など）               | 21.4 |
| 10 | 人工知能（AI）や小型センサーなどの先端技術を活用した取り組み（センサーによる高齢者の見守りなど） | 21.7 |
| 11 | その他（具体的に： _____ )                                 | 2.6  |
| 12 | 特になし  | 5.9  |

問 17 情報通信技術（ICT）を活用した、オンライン手続などの行政情報化および地域情報化の各種取り組みについての意見や要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

《 「モラル・マナー」と「自転車安全利用」について 》

福岡市では、「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」（通称：モラル・マナー条例）に基づき、市民の皆さんや企業・団体と一体となってモラル・マナーの向上に取り組んでいます。しかしながら、「令和4年度市政に関する意識調査」によれば、市民のマナーに対する満足度は47.4%といまだ低い状態にあります。

問 18 あなたは、福岡市のモラル・マナーの現在の状況をどのようにお考えですか。（1）～（14）のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=543)	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	わからない	無回答
	(1) 路上で歩行しながら喫煙しない	28.9	33.7	22.1	12.0	3.1
(2) 路肩などに迷惑駐車をしない	20.4	25.0	34.6	17.3	2.4	0.2
(3) 自動車の運転マナー (無理な割り込みをしない、黄信号で進入をしないなど)	17.5	16.2	37.0	24.5	4.4	0.4
(4) 自転車の走行マナー (原則として車道を通行する、歩道通行の際はスピードを出さない、右側通行や無灯火運転をしないなど)	15.1	12.0	33.3	37.0	2.4	0.2
(5) 公共の場所などに自転車を放置（駐輪）しない	18.4	24.1	33.1	17.5	6.3	0.6
(6) エスカレーター上を歩かない	14.4	29.7	32.0	17.5	6.1	0.4
(7) 公共物などに落書きしない	21.9	28.7	30.2	10.1	8.7	0.4
(8) 空き缶やごみのポイ捨てをしない	21.0	29.1	29.7	17.7	2.0	0.6
(9) たばこの吸い殻のポイ捨てをしない	20.4	23.0	30.2	23.0	3.1	0.2
(10) 飼い犬のふんを放置しない	25.0	35.5	23.8	11.4	4.1	0.2
(11) 電柱やガードレールなどに広告を張らない	25.2	38.9	20.4	6.8	8.3	0.4
(12) 障がい者用駐車区画を障がい者でない人が利用しない	22.8	32.6	19.7	10.5	14.2	0.2
(13) 点字ブロック上に車両を駐車したり、物を置かない	23.2	32.0	20.6	10.1	13.6	0.4
(14) 公共交通機関の乗車マナー (整列乗車、車内で席を譲る、車内で音漏れさせないなど)	21.9	44.6	19.7	7.7	5.9	0.2

問 19 福岡市では、モラル・マナー条例などで、下記の事項を定めています。あなたはこれらを知っていましたか。(1)～(3)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=543)	知っていた	名称は知っていたが、内容までは知らなかった	知らなかった	無回答
(1) 自転車の押し歩き推進区間	40.7	21.7	37.2	0.4
(2) 路上禁煙地区	47.0	22.8	29.8	0.4
(3) 迷惑駐車防止重点区域	29.5	26.9	43.3	0.4

**【自転車の押し歩き推進区間】**

西鉄福岡駅前の渡辺通り西側歩道（天神交差点から渡辺通四丁目交差点まで）では、午前8時（土日祝は午前10時）～午後7時の間、自転車押し歩きに努めることとされています。

**【路上禁煙地区】**

天神・大名地区及び博多駅周辺地区を路上禁煙地区とし、歩行中や自転車乗車中の喫煙が禁止されています。

**【迷惑駐車防止重点区域】**

天神地区、西新地区、博多駅周辺地区は迷惑駐車防止重点区域に指定されており、迷惑駐車防止に努めることとされています。



問 20 あなたは、どのくらいの頻度で自転車を利用しますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=543) 無回答 0.9

1 ほぼ毎日	}	→	問 21、問 22 へ	12.5
2 週に4～5日程度				5.5
3 週に2～3日程度				8.5
4 週に1日程度				7.0
5 2週に1日程度				3.1
6 月に1日程度				3.7
7 ほとんど利用しない				15.1
8 全く利用しない	→	問 23 へ	43.6	

問 21 ≪ 問 20 で「1」～「7」と回答した方におたずねします。≫

あなたは、自転車損害賠償保険等<sup>※1</sup>に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(n=301) 無回答 0.3

1 加入している	69.1
2 加入していない	22.6
3 加入しているかわからない	8.0

問 22 ≪ 問 20 で「1」～「7」と回答した方におたずねします。≫

道路交通法の改正により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。あなたは、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(n=301) 無回答 0.7

1 している	11.3	2 していない	88.0
--------	------	---------	------

※1 自転車損害賠償保険等とは

自転車を利用中の事故により、他人にけがをさせてしまった場合などの損害を賠償するための保険や共済のことです。具体的なものとしては、下記の表のとおり、個人賠償責任保険や自動車保険の特約、クレジットカードの付帯保険など、さまざまな種類があります。福岡市では、「福岡市自転車の安全利用に関する条例」において、令和2年10月1日より、自転車利用者、事業者、自転車貸出業者の皆さまなどに対し、自転車損害賠償保険等への加入を義務付けています。

自転車損害賠償保険等の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車利用者向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
	傷害保険の特約	傷害保険の特約で付帯した保険
団体保険	会社などの団体保険	団体の構成員向けの保険
	P T A の保険	P T A や学校が窓口の保険
共済		全労災、その他共済など
T S マーク付帯保険		自転車安全整備士が点検整備した自転車に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		クレジットカードに付帯した保険

## 《 「再犯の防止」について 》

近年、全国的に刑法犯認知件数は減少傾向にある一方、再犯者率は上昇を続けており、福岡市においても約半数が再犯者となっています。犯罪をした人※たちの中には、地域社会で生活する上で、様々な困難や課題を抱えている人が少なくありません。

本市においても、犯罪や非行そのものの防止とともに再犯者を減らすことが、市民の皆さまが安全・安心に生活するために不可欠であると考えています。

※このアンケートにおいて、「犯罪をした人」とは、犯罪または非行をした人とお考えください。

問 23 あなたは、「社会を明るくする運動<sup>※2</sup>」を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=543) 無回答 0.7

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1 言葉も、内容も知っている      | 5.2  |
| 2 言葉は知っているが、内容は知らない | 21.9 |
| 3 言葉も、内容も知らない       | 72.2 |

※2 すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動のことでです。

問 24 『再犯防止のためには、犯罪をした人たちを社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。』という意見について、どう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

(N=543) 無回答 0.6

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1 そう思う           | 17.9 |
| 2 どちらかといえばそう思う   | 53.2 |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 13.8 |
| 4 そう思わない         | 6.6  |
| 5 わからない          | 7.9  |

問 25 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者を知っていますか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=543)	知っている言葉も、内容も	言葉は知っているが、内容は知らない	知らない言葉も、内容も	無回答
(1)「保護司」 犯罪をした人たちの立ち直りを地域で支えるために、保護観察の実施（定期的な面接など）、犯罪予防活動などの更生保護に関する活動を行っている人。	45.9	28.2	25.4	0.6
(2)「更生保護女性会」 地域の犯罪予防活動と犯罪をした人たちの更生支援活動（更生保護施設 <sup>※3</sup> への食事奉仕など）を行う女性ボランティア団体。	5.5	13.3	80.1	1.1
(3)「協力雇用主」 犯罪をした人たちの自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした人たちを雇用、又は雇用しようとする事業主。	28.9	23.9	46.2	0.9
(4)「BBS（Big Brothers and Sisters Movement）会」 非行少年などの自立を支援（非行少年などの「ともだち」となってその成長や自立を支援する「ともだち活動」など）するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体。	2.6	8.8	87.7	0.9
(5)「 <sup>きょうかいし</sup> 教誨師」 矯正施設 <sup>※4</sup> 在所者の希望に基づき宗教上の儀式行事及び教誨（読経や説話などによる精神的救済）を行うボランティア。	8.8	12.7	77.5	0.9
(6)「 <sup>とくしめんせついいん</sup> 篤志 面接 委員」 矯正施設在所者と面接し、専門的知識や経験に基づいて相談、助言及び指導などを行うボランティア。	1.8	5.2	91.5	1.5
(7)「少年補導員」 街頭補導活動や立ち直り支援活動のほか幅広い非行防止活動に従事するボランティア。	44.0	38.7	16.4	0.9
(8)「少年指導委員」 少年を有害な風俗環境から守るための補導活動や風俗営業者などへの助言に従事するボランティア。	18.4	33.5	47.1	0.9

※3 出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設のことです。

※4 刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院を総称するものです。

問 26 あなたは、犯罪をした人たちの立ち直りに協力したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=543) 無回答 2.0

1 思う	}	→	問 27 へ	6.3
2 どちらかといえば思う				34.8
3 どちらかといえば思わない	}	→	問 28 へ	43.1
4 思わない				13.8

問 27 <<問 26 で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>  
 どのような協力をしたいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。  
 (n=223) 無回答 —

1 行政機関などの広報・啓発内容を SNS など（ツイッター、フェイスブック、ラインなど）を活用して発信する	15.7
2 街頭キャンペーンなどへ参加する	12.1
3 民間協力者（保護司など）によるセミナーなどに参加する	23.3
4 刑務所作業製品などを購入する	57.4
5 更生保護施設に金品などを寄付する	11.2
6 地域の防犯パトロールへ参加する	24.2
7 犯罪をした人たちの相談に乗り、助言やサポートをする	15.7
8 その他（具体的に： _____）	4.0
9 わからない	10.3

問 28 <<問 26 で「3」「4」と回答した方におたずねします。>>  
 協力したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。  
 (n=309) 無回答 1.0

1 犯罪をした人たちとどのように接すればよいかわからないから	59.9
2 自分や家族の身に何か起きないか不安だから	49.8
3 犯罪をした人たちと関わりを持ちたくないから	37.2
4 具体的なイメージがわからないから	35.0
5 時間的余裕がないから	22.3
6 興味がないから	3.6
7 自分自身にメリットがないから	5.8
8 犯罪をした人たちに支援などするべきではないから	6.8
9 犯罪をした人たちへの支援などは国や地方公共団体が行うべきだから	7.1
10 その他（具体的に： _____）	7.4
11 わからない	-

《 すべての方におたずねします。 》

問 29 今後福岡市は、再犯防止のためにどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。 (N=543) 無回答 1.7

1	再犯防止についての理解を深めるための広報・啓発活動	29.1
2	被害者や犯罪をした人たちなどへの理解に関する学校教育	23.9
3	犯罪をした人たちへの支援につながる窓口などの周知	29.1
4	犯罪をした人たちへの就労支援につながる取り組み	51.6
5	犯罪をした人たちへの住宅確保支援	13.6
6	犯罪をした人たちへの保健医療・福祉制度の利用促進	8.7
7	犯罪をした人たちなどに対し、被害者の置かれた状況や心情を理解させる取り組み	44.4
8	地域ぐるみの、再犯防止に向けた取り組みの支援	26.0
9	その他（具体的に： _____ )	2.8
10	特にない	5.0

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。  
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて  
ご返送をお願いします。

【標本構成（第3回）】 (N=543)

◆性別

男性 .....	45.1
女性 .....	54.9

◆年齢

18～29 歳 .....	13.8
30 代 .....	15.3
40 代 .....	18.8
50 代 .....	18.6
60 代 .....	12.3
70 歳以上 .....	21.2

◆職業

正社員・正職員 .....	37.2
契約社員・派遣社員・嘱託 .....	7.0
パート・アルバイト .....	15.7
会社等役員 .....	2.9
自営業・家族従事者 .....	5.2
専業主婦・専業主夫 .....	14.4
学生 .....	3.3
無職 .....	13.1
その他 .....	1.3

◆行政区

東区 .....	23.9
博多区 .....	12.5
中央区 .....	11.8
南区 .....	17.5
城南区 .....	8.5
早良区 .....	12.3
西区 .....	13.4

◆居住年数

3年未満 .....	7.9
3年以上5年未満 .....	6.3
5年以上10年未満 .....	12.2
10年以上20年未満 .....	19.0
20年以上30年未満 .....	18.6
30年以上 .....	36.1

◆居住形態

持家の戸建て .....	32.6
持家の集合住宅 .....	26.7
賃貸の戸建て .....	2.0
賃貸の集合住宅 .....	36.6
社宅・寮 .....	1.5
その他 .....	0.6

◆18歳未満の同居家族

いる .....	30.9
いない .....	63.0
無回答 .....	6.1

◆65歳以上の同居家族

いる .....	39.8
いない .....	58.9
無回答 .....	1.3

◆回答方法

郵送 .....	39.2
インターネット .....	60.8